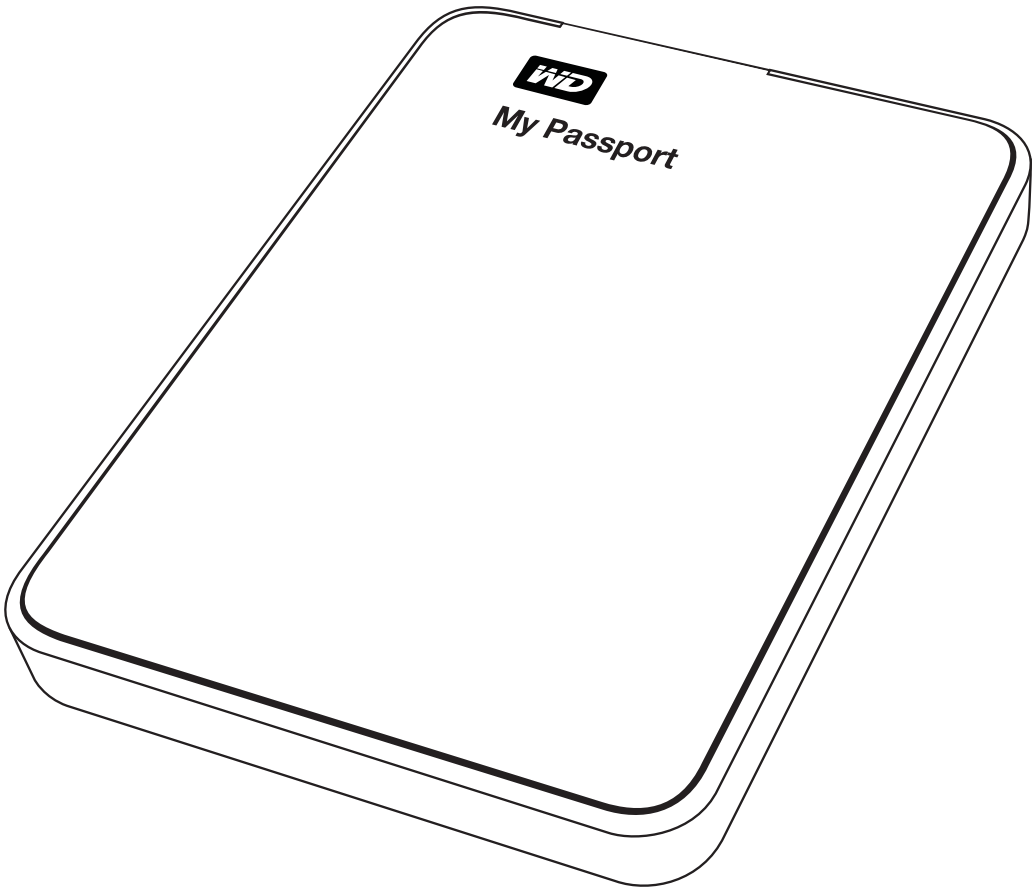
外付けポータブル

My Passport®

ポータブルハードディスクドライブ

ユーザーマニュアル



Western Digital®

WD サービスとサポート

万が一本製品に問題が発生した場合は、返品される前に弊社までお問い合わせをお願い致します。テクニカルサポートに関するご質問の多くは、弊社のナレッジベース (*support.wdc.com*) かメールでのサポートサービスでお答えすることができます。答えが見つからない場合は、下記の電話番号にて弊社までお問い合わせください。

お客様の製品には、保証期間中、30 日の無料電話サポートが含まれています。この 30 日間は弊社のテクニカルサポートに最初にお電話された日付から始まります。メールによるサポートは保証期間中無料です。また、弊社のナレッジベースは年中無休でご利用いただけます。お客様に常に最新の機能とサービスを提供できますよう、*http://register.wdc.com* よりオンライン製品登録をお願い致します。

オンラインサポートへのアクセス

製品サポート ウェブサイト *support.wdc.com* を閲覧し、次のトピックから選択します。

- **ダウンロード** – お使いの WD製品のドライバ、ソフトウェア、およびアップデートをダウンロードすることができます。
- **登録** – 最新のアップデートおよび特別な提供を入手されるためにお使いの WD 製品を登録してください。
- **保証および RMA サービス** – 保証、製品交換 (RMA)、RMAステータス、および日付取得情報を確認することができます。
- **ナレッジベース** – キーワード、フレーズ、または回答IDで検索。
- **インストール** – WD製品やソフトウェアのオンラインインストールヘルプを確認することができます。
- **WDコミュニティ** – 他の WDユーザーと自分の意見を交換をすることができます。

WD テクニカル サポートの連絡先

サポートのために WDへ連絡いただく際は、WD製品シリアル番号、システムハードウェア、およびシステムソフトウェアバージョンをご用意ください。

北米		**アジア太平洋**	
英語	800.ASK.4WDC (800.275.4932)	オーストラリア	1 800 42 9861
		中国	800 820 6682/+65 62430496
スペイン	800.832.4778	ホンコン	+800 6008 6008
		インド	1 800 11 9393 (MNTL)/1 800 200 5789 (Reliance) 011 26384700 (Pilot Line)
ヨーロッパ（通信料無料）*	00800 ASK4 WDEU	インドネシア	+803 852 9439
	(00800 27549338)	日本	0120 994 120/00531 65 0442
		韓国	02 703 6550
ヨーロッパ	+31 880062100	マレーシア	+800 6008 6008/1 800 88 1908/+65 62430496
中東	+31 880062100	フィリピン	1 800 1441 0159
アフリカ	+31 880062100	シンガポール	+800 6008 6008/+800 608 6008/+65 62430496
		台湾	+800 6008 6008/+65 62430496

* 通信料無料番号は以下の国で利用可能です。オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、スペイン、スエーデン、スイス、英国。

目次

WD サービスとサポート ii
オンラインサポートへのアクセス ii
WD テクニカル サポートの連絡先 ii

1 WD ドライブについて 1

特長 1
キットの内容 2
オプションのアクセサリ 2
オペレーティング システムの互換性 3
ディスクドライブのフォーマット 3
各部の名称と説明 3
電源 / 動作状況 LED 4
USB 3.0 インターフェース 4
ドライブの登録 4
取り扱い上の注意 4

2 ドライブの接続と使用開始 5

ドライブの接続 5
WD ソフトウェアを使い始める 6

3 WD SmartWare ソフトウェア機能概要 12

［ホーム］画面 13
［バックアップ］画面 17
［復元］画面 20
［設定］画面 23
［ヘルプ］画面 24

4 コンピュータ ファイルのバックアップ 26

バックアップ機能の仕組み 26
ファイルのバックアップ 26

5 バックアップファイルを復元 31

復元機能の仕組み 31
ファイルの復元 31

6 ドライブのロックとロック解除 35

ドライブのパスワード保護 35
ドライブのロック解除 36
WD セキュリティまたは WD ドライブユーテリティでドライブのロックを解除する . . . 37
WD SmartWare ソフトウェアを使用してドライブのロックを解除する 38
WD ドライブアンロックユーティリティを使用してドライブのロックを解除する. 39
パスワードの変更 40
ドライブロック機能を無効にする 41

7 ドライブの管理とカスタマイズ 42

WD SmartWare アイコンを使用する 42
WD SmartWare ソフトウェアを開く 42
ドライブステータスをチェックする 43
ドライブを安全に取り外す 43
アイコン アラートの監視 43
ドライブのスリープタイマーの設定 44
ドライブの登録 44
ドライブの健康状態のチェック 45
ドライブ消去 47
ドライブの消去機能を使用する 47
WD Drive Unlock Utility を使用する 48
WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元 50

8 ソフトウェアの管理とカスタマイズ 51

バックアップバージョンの数を指定 51
コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを中断 52
別の復元フォルダを指定する 52
ソフトウェアアップデートのチェック 53
WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール 53

9 Mac でドライブを使用する 55

ドライブの再フォーマット 55
WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元 55
Mac にドライブをインストール 55

10 トラブルシューティング 56

ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット 56
よくある質問 56

A SES ドライバのインストール 58

Windows XP コンピュータにインストールする 58
ドライバを自動的にインストール 58
ドライバを手動でインストール 60
Windows Vista にインストールする 62
ドライバを自動的にインストール 62
ドライバを手動でインストール 63
Windows 7 にインストールする 65

B 遵守および保証情報 67

規制順守 67
FCC クラス B 情報 67
ICES-003/NMB-003 宣言 67
安全準拠 67
ヨーロッパに於ける CE の遵守 67
KCC 告知（韓国のみ） 68
環境基準の遵守（中国） 68
保証情報 68
サービスを受けるには 68
限定保証 69
GNU 一般公衆利用許諾契約書 (GPL) 69

索引 70

1 WD ドライブについて

このたびは、My Passport® ポータブルハードディスクドライブをご購入いただき、まことにありがとうございます。本製品は、お客様のデジタルライフのあらゆる場面でお役に立てる、洗練された大容量ストレージソリューションです。この最新エディションは、ビジュアルで使いやすい自動連続バックアップ ソフトウェアとドライブロックセキュリティ保護を特長としています。

My Passport は、なめらかでコンパクトな大容量ポータブルハードディスクドライブです。My Passportは、超高速 USB3.0 接続ポート、自動バックアップ機能、ファイルの不正使用防止に役立つパスワード保護機能とハードウェアベースでのデータ暗号化機能、お手持ちのすべてのファイルが保存可能な大容量、などを備えています。

この章では、以下のトピックについて説明します。

特長
キットの内容
オプションのアクセサリ
オペレーティング システムの互換性
ディスクドライブのフォーマット
各部の名称と説明
ドライブの登録
取り扱い上の注意

特長

My Passportドライブの主な特長は以下の通りです。

超高速転送レート – My Passportの USB3.0 ポートを使用することで驚くほどの速さでファイルにアクセス、保存が可能です。USB2.0 の転送速度の最大 3 倍で、転送時間を大幅に短縮します。*

* 実際の転送速度はお客様のハードウェアおよびシステム条件によって異なります。

USB3.0 と USB2.0 の両方に対応 – 現在広く普及している USB2.0 対応デバイスとの互換性と次世代規格である USB3.0 の超高速スピードの両方をこの 1 台で手に入れることが可能です。

大容量、コンパクト設計 – コンパクトな筐体でありながら最大 2TB の大容量を実現。My Passport はたくさんのビデオ、写真、音楽、書類ファイルなどを安全に持ち運びたい方に最適です。

WD SmartWare™ – 自動・連続バックアップを行うこのバックアップソフトウェアが、最小の PC リソースでバックグランドで静かに動作し、データ保護に役立ちます。ファイルの追加・変更のたびに、瞬時にバックアップを実行します。

WD Security™ – パスワード保護の設定とハードウェアベースでのデータ暗号化機能で、ハードディスクドライブ上にあるファイルの不正使用や不正アクセスを防止します。

WD Drive Utilities™ – ハードディスクドライブ本体の登録、ドライブスリープタイマーの設定、ディスク診断をはじめ、それ以外にもさまざまなユーティリティ機能をお使いいただけます。

USB電源 – PC上のUSBポートから直接電源が供給されます。別の電源は必要ありません。

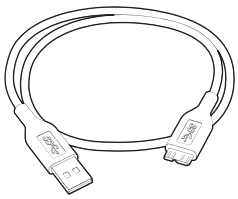
あらゆる所に WD の高品質 – WD は、お客様のデータがお客様にとって重要であることを理解しています。WD では自社の内蔵ドライブを、耐久性、防振性、長期的な信頼性の観点で高い基準を設けて開発しています。さらに、美しさと安全性を重視して設計された強い筐体で、これらの内蔵ドライブを保護しています。

重要： 最新の WD 製品情報とニュースについては、弊社のウェブサイト *www.westerndigital.com* をご覧ください。最新のソフトウェア、ファームウェア、および製品ドキュメントと情報については、*http://products.wdc.com/updates* を参照してください。

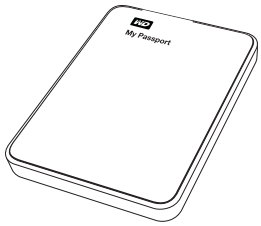
キットの内容

My Passport ハードディスクドライブキットには、以下のものが同梱されています（図 1）。

- My Passport ポータブルハードディスクドライブ本体
- USB 3.0 用ケーブル
- クイックインストール ガイド
- WD SmartWare、WD セキュリティおよび WD ドライブユーティリティソフトウェア（ドライブに搭載済み）



USB 3.0 ケーブル



My Passportポータブルハードディスクドライブ



クイック インストール ガイド

図 1. My Passport ドライブ キット コンポーネント

オプションのアクセサリ

My Passportドライブでは、以下のアクセサリを使用できます。

- バス電力の低いコンピュータでは、必要になる場合がある専用USBケーブル。
- 交換、または追加用 USB ケーブル。

本製品のオプションアクセサリについての詳細は、以下をご覧ください。

米国	*www.shopwd.com* または *www.wdstore.com*
カナダ	*www.shopwd.ca* または *www.wdstore.ca*
ヨーロッパ	*www.shopwd.eu* または *www.wdstore.eu*
その他の国	各地域の WD テクニカルサポートにお問い合わせください。テクニカルサポートの連絡先のリストは、*support.wdc.com* にアクセスして、ナレッジベース 回答 ID 1048 を参照してください。

オペレーティング システムの互換性

My Passportドライブおよび WD セキュリティ・WD ドライブユーティリティソフトウェアは、以下のオペレーションシステムと互換性があります。

Windows®

- Windows XP
- Windows Vista®
- Windows 7

Mac® OS X®

- Leopard®
- Snow Leopard™
- Lion

WD SmartWareソフトウェアは以下のオペレーティングシステムとの互換性があります。

Windows

- Windows XP
- Windows Vista
- Windows 7

互換性は、ハードウェア構成とオペレーティングシステムによって異なる場合があります。

最高のパフォーマンスと信頼性を得るには、必ず最新のアップデートおよびサービスパック (SP3) をインストールしてください。アップデートを実行する場合、Windows PCをご使用の方は **[スタート]** メニューに進み、**[Windows Update]** を選択してください。Macをご使用の方は、**[Apple]** メニューに進み、**[Software Update]** を選択してください。

ディスクドライブのフォーマット

My Passportハードディスクドライブは、すべての更新済み Windows OS との互換性を保つために、単一の NTFS パーティションとしてフォーマットされています。このドライブをMacで使用される場合は、55 ページの「ドライブの再フォーマット」と 56 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。

各部の名称と説明

My Passportドライブの各部の名称は図 2 のとおりです。

- 電源 / 動作状況LEDインジケータ
- USB3.0インターフェースポート

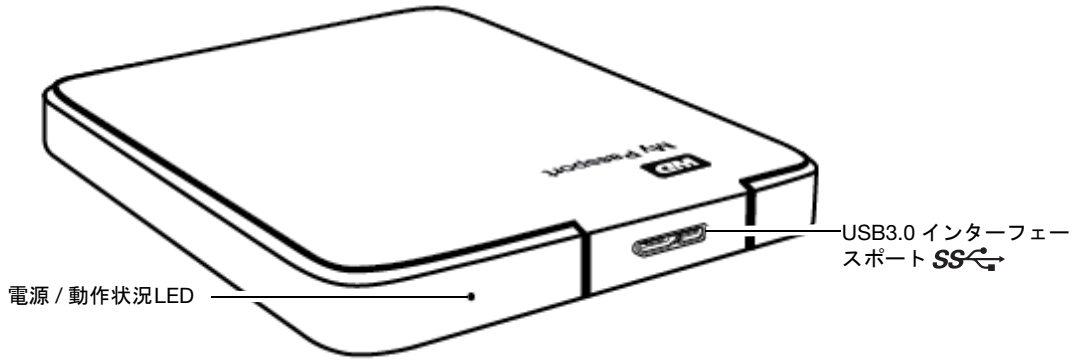


図 2. MyPassport ドライブ

電源 / 動作状況 LED

電源動作状況 LEDインジケータは、ハードディスクドライブの電源状態および動作状況を以下のように表示します。

LED 表示	電源の状態 / 動作状況
常時点灯	アイドル
高速点滅 (1 秒に約 3 回)	動作
ゆっくりと点滅 (約 2.5 秒おき)	システム スタンバイ

USB 3.0 インターフェース

USB3.0 は最大 5 Gb/s の転送レートに対応しています。USB3.0 は USB2.0 および USB1.1 との下位互換性があります。USB2.0 または USB1.1 への接続時のデータ転送は、以下のポート速度となります :

- USB2.0 – 最大 480 Mb/ 毎秒
- USB1.1 – 最大 12 Mb/ 毎秒

ドライブの登録

お客様のMy passportドライブをご登録ください。ご登録いただいたお客様には、最新のアップデート情報および特別価格販売などをご案内いたします。ご使用のドライブは、WD Drive Utilities ソフトウェアを使用して簡単にご登録いただけます。また、操作手順は 44 ページの「ドライブの登録」に記載されています。*register.wdc.com* からオンラインでもご登録いただけます。

取り扱い上の注意

WD 製品は精密機械なので、開梱時およびインストールの際は丁寧にお取り扱いください。乱暴な取扱、衝撃または振動はドライブに損傷を与える場合があります。外付けストレージ製品の開梱やインストールの際には、次の注意事項を守ってください。

- ドライブを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 動作中にドライブを動かさないでください。

2 ドライブの接続と使用開始

この章では、ドライブを接続し、WD ドライブユーティリティ、WD セキュリティ、および WD SmartWare ソフトウェアをご使用のコンピュータにインストールする手順について説明します。以下のトピックについて取り上げています。

ドライブの接続
WD ソフトウェアを使い始める

ドライブの接続

ご注意: Mac用にドライブを再フォーマットしてある場合は、この手順の代わりに 55 ページの「Mac にドライブをインストール」を参照してください。

My Passport ドライブを Windows PCに接続するには、以下の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を入れます。
2. 図 3 に示すように、ドライブをコンピュータに接続します。
3. ドライブがWindowsエクスプローラの [マイ コンピュータ] に表示されることを確認します。
4. [新しいハードウェアの検出] 画面が表示された場合は、**[キャンセル]** をクリックして画面を閉じます。インストールを行う際に、WD ソフトウェアがドライブに適したドライバーを自動的にインストールします。

これで My Passport ドライブを外付けストレージ デバイスとして使用する準備ができました。ドライブ上にある WD ソフトウェアをインストールすることで、パフォーマンスをより向上させることができます。

- WD セキュリティ
- WD ドライブ ユーティリティ
- WD SmartWare

WD ソフトウェアについては、6 ページの「WD ソフトウェアを使い始める」を参照してください。

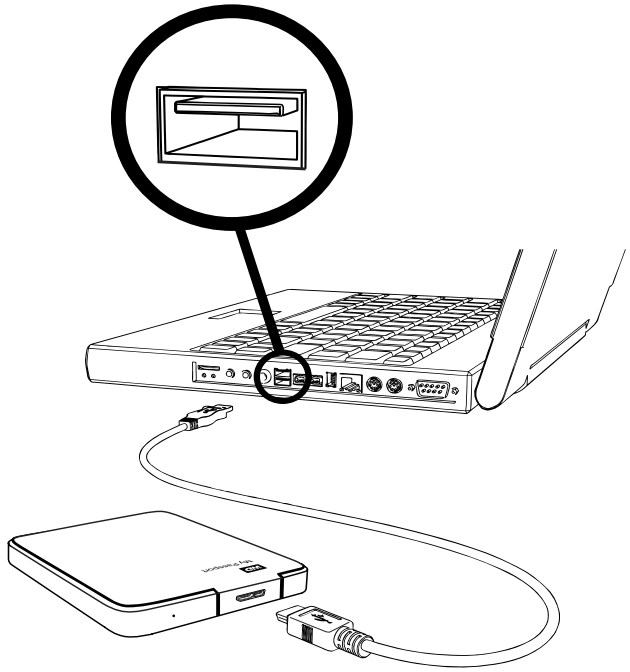


図 3. My Passportドライブの接続

WD ソフトウェアを使い始める

ドライブをコンピュータに接続した後、ドライブ上にあるインストールウィザードを使用して、WD ソフトウェアをインストールすることができます。

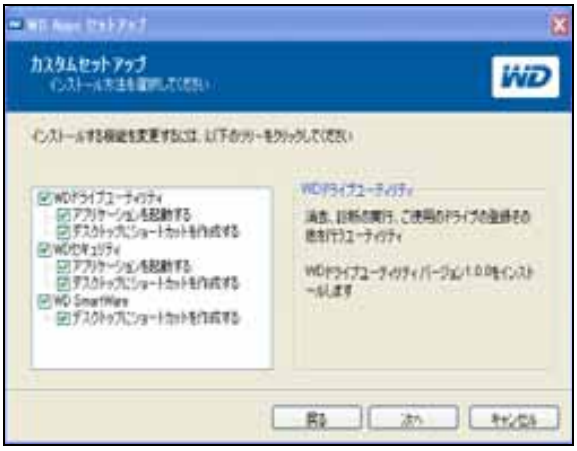
- WD セキュリティ
- WD ドライブユーティリティ
- WD SmartWare

WD ソフトウェアを使い始めるには：

1. エクスプローラでMy Passportドライブの内容を表示し、一覧からWD Apps Setupファイルをダブルクリックして、WD Apps Setupウィザードを開始します：



2. **[次へ]** ボタンをクリックして使用許諾契約を表示します。
3. 使用許諾契約を読み、**[使用許諾契約に同意します]** チェックボックスをオンにして、**[次へ]** ボタンを使用可能にします。
4. **[次へ]** ボタンをクリックして［カスタムセットアップ］画面を表示します。



5. ［カスタムセットアップ］画面の操作：

a. アプリケーション名を選択して、アプリケーションの説明を確認します。

- **WD ドライブユーティリティ**
- **WD セキュリティ**
- **WD SmartWare**

b. アプリケーションを何もインストールしない場合は、すべてのチェックボックスをオフにします。

c. 以下のインストールオプションを何も追加しない場合は、すべてのチェックボックスをオフにします。

- **デスクトップにショートカットを作成する**
- **インストール後にアプリケーションを起動する**

d. **［次へ］**ボタンをクリックして、選択したアプリケーションおよびインストールオプションのインストールを開始します。

6. 選択に応じて、以下のようになります：

- WDドライブユーティリティと［インストール後にアプリケーションを起動する］オプションのインストールの場合、［WD Drive Utilities］（WD ドライブユーティリティ）画面（図 4 および 42 ページの「ドライブの管理とカスタマイズ」を参照してください）が表示されます。
- WD セキュリティと［インストール後にアプリケーションを起動する］オプションのインストールの場合、［WD Security］（WD セキュリティ）画面（図 5 および 35 ページの「ドライブのロックとロック解除」を参照してください）が表示されます。



図 4. ［WD Drive Utilities］（WD ドライブユーティリティ）画面



図 5. ［WD Security］（WD セキュリティ）画面

- WD SmartWare をインストールする場合、実行したいバックアップを選択するための［バックアッププラン選択］画面が表示されます：



［バックアッププラン選択］画面での操作：

a. 実行したいバックアップ タイプのオプションを選択します。

- **カテゴリのバックアップ** – コンピュータ上の選択したカテゴリのファイルをすべて検出してバックアップします。
- **ファイルバックアップ** – コンピュータ上の内蔵ハードディスクのフォルダー覧から選択したファイルやフォルダをバックアップします。

b. **[次へ]** ボタンをクリックして、初回バックアップ画面を表示します（10 ページの図 6）。

c. 初回バックアップ画面でできること：

- 最初のバックアップを実行 – **［バックアップの開始］**をクリックする前に、26 ページの「コンピュータ ファイルのバックアップ」を参照してください。

  バックアップを完了した後、**[続ける]** をクリックして WD SmartWare の［ホーム］画面を表示します（11 ページの図 7）。
- **[バックアップをスキップ]**をクリックした場合も、WD SmartWare の［ホーム］画面が表示されます（11 ページの図 7）。

7. インストール完了後、**[終了]** ボタンをクリックして WD Apps Setup ウィザードを閉じます。



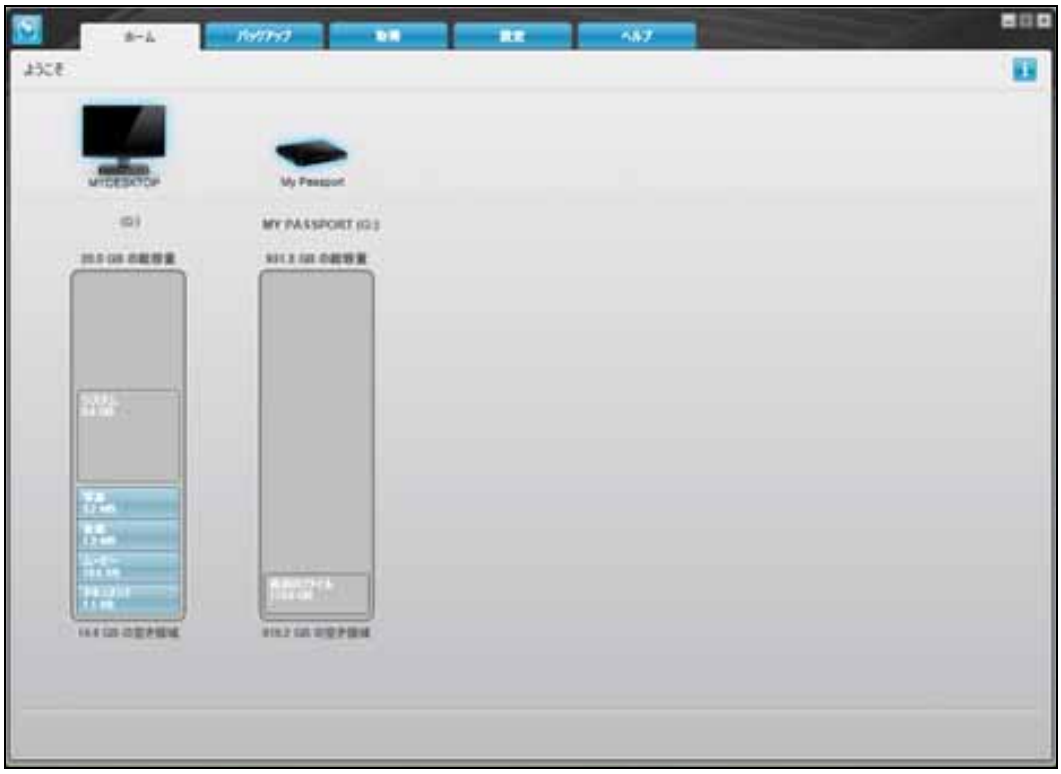
初回のバックアップ画面（カテゴリのバックアップの場合）

ご注意： このバックアップ画面は、初回の1回のみ表示される画面です – WD SmartWare ソフトウェアをご使用のコンピュータにインストールした場合。その後は、ソフトウェアを起動すると［ホーム］画面が表示され、処理を選択することができます。

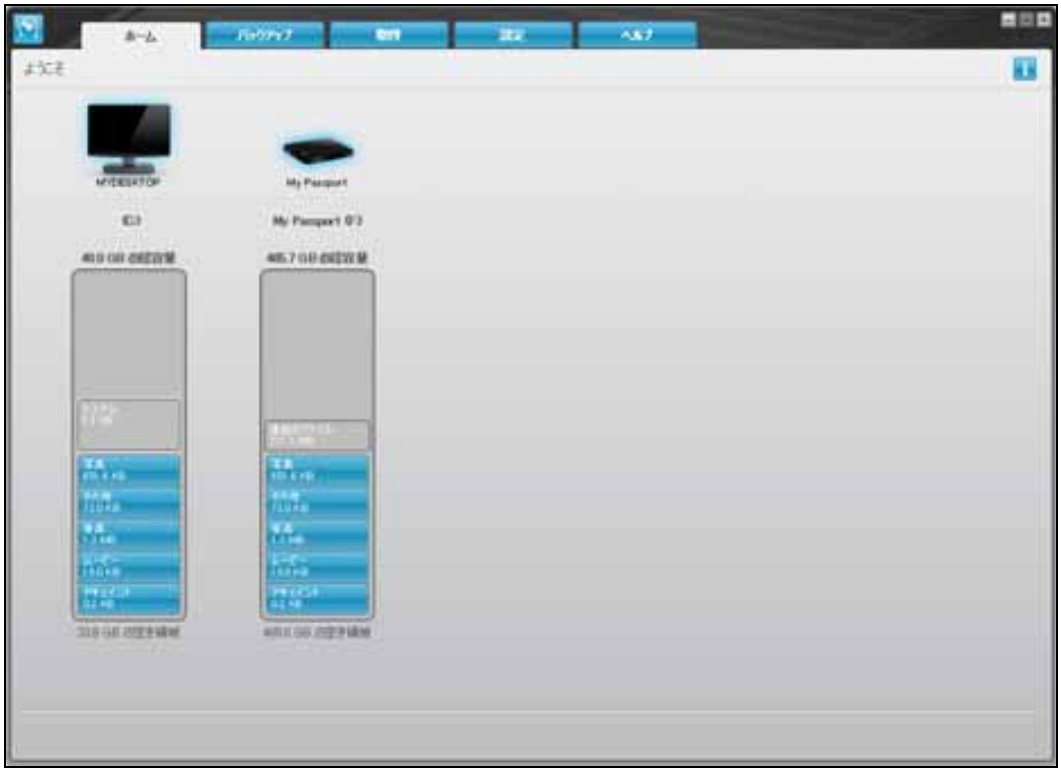


初回のバックアップ画面（ファイルバックアップの場合）

図 6. 初回の [バックアップ] 画面



初回のバックアップの前



初回のバックアップの後

図 7. WD SmartWare の［ホーム］画面

3 WD SmartWare ソフトウェア機能概要

この章では、WD SmartWare ソフトウェアの機能の概要を説明します。以下のトピックについて取り上げています。

［ホーム］画面
［バックアップ］画面
［復元］画面
［設定］画面
［ヘルプ］画面

WD SmartWare ソフトウェアの操作項目と機能はすべて、5 つの各タブを選択すると表示される以下の画面に使用できます。

タブ	説明
ホーム	5 つのタブおよびコンテンツゲージが表示されます。コンテンツゲージには、コンピュータ内蔵のハードドライブおよび接続された対応外付けドライブの総容量とカテゴリ構造が表示されます。 コンピュータに複数のハードドライブが接続されている場合 : ・ 内蔵ハードドライブまたは複数のドライブ パーティション。操作の対象とするハードドライブを指定する選択ボックスを表示します ・ 対応外付けドライブ。操作の対象とするドライブをハイライト表示します。 13 ページの「［ホーム］画面」を参照してください。
バックアップ	選択するバックアップモードに応じて表示される 2 つのダイアログのうちの 1 つ。 ・ カテゴリごとのダイアログには、コンテンツゲージが表示されます。コンテンツゲージには、コンピュータ内蔵のハードドライブおよび使用している外付けドライブの総容量とカテゴリ構造が表示されます。 ・ ファイルごとのダイアログには、コンピュータ内蔵のハードドライブのフォルダー一覧が表示されます。一覧を使用して、バックアップするファイルおよびフォルダを選択します。 各バックアップダイアログには以下のものがあります。 ・ 2 つのバックアップダイアログを切り替える［ファイルバックアップに切り替える / カテゴリバックアップに切り替える］トグルボタン ・ バックアップを管理する［バックアップの開始 / バックアップの停止］トグルボタン 17 ページの「［バックアップ］画面」を参照してください。
復元	次の操作対象を選択する 3 つの全画面ダイアログ : ・ 復元元ファイルのバックアップ ボリューム ・ 復元されたファイルをコピーしたいコンピュータ上の保存先 ・ 復元したいファイル 20 ページの「［復元］画面」を参照してください。

（続き）

タブ	説明
設定	次の操作を行うダイアログを開くボタン : ・ ファイルごとに保持するバックアップバージョンの数を指定する ・ コンピュータのアイドル時にのみバックアップを実行するオプションを有効にする / 無効にする ・ 取得したファイルを保存するフォルダとして、異なるフォルダを指定する ・ WD SmartWare ソフトウェアアップデートを自動的に確認する 23 ページの「[設定] 画面」を参照してください。
ヘルプ	以下情報に簡単にアクセスできます : ・ ファイルのバックアップと復元、およびソフトウェア設定に関する詳細情報 ・ WD カスタマーサポートおよびソフトウェアアップデートサービス 24 ページの「[ヘルプ] 画面」を参照してください。
各表示で、WD SmartWare ソフトウェアは接続されているドライブのハードウェア構成に応じて名称およびグラフィック画像を変更します。	

ご注意 : 詳細な [ヘルプ] タブの情報に加えて、各画面から簡潔なオンラインヘルプに簡単にアクセスでき、バックアップ、復元および設定タスクに役立てることができます。操作について確認したい場合は、画面右上角のヘルプアイコンをクリックしてください。



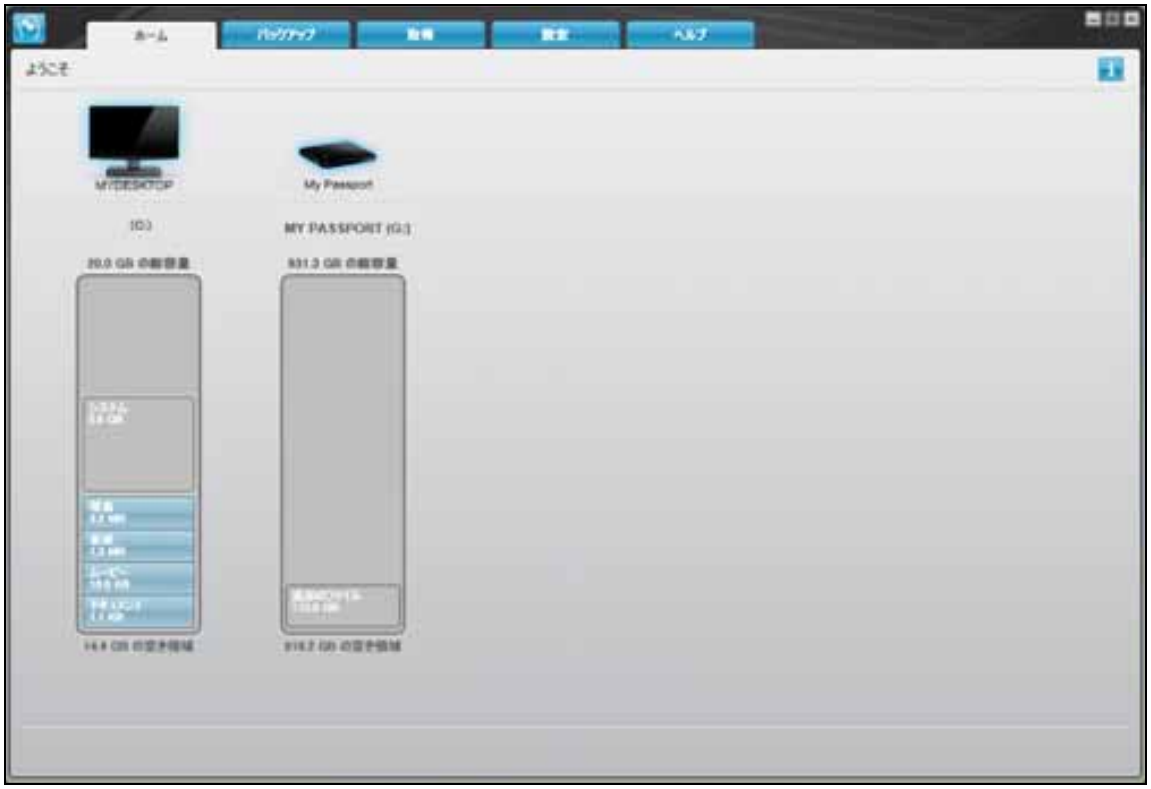
オンラインヘルプを読んだ後、情報 / オンラインヘルプ画面を閉じるには、画面の右上隅にある［×］アイコンをクリックします。

［ホーム］画面

WD SmartWare [ホーム] 画面を使ってハードドライブのコンテンツ ゲージを表示し、以下の事項を選択します。

- ファイルのバックアップ、または復元したファイルのコピーを行う内蔵ハードドライブまたはハードドライブパーティション（コンピュータに1つ以上存在する場合）
- ファイルのバックアップの保存、またはファイルの取得を行うMy Passportドライブ（コンピュータに複数接続している場合）

［ホーム］画面の機能概要については、14 ページの「［ホーム］タブ表示」および 15 ページの図 1 を参照してください。


ホーム
バックアップ
ようこそ
MYDESKTOP
My Passport
MY PASSPORT (G:)

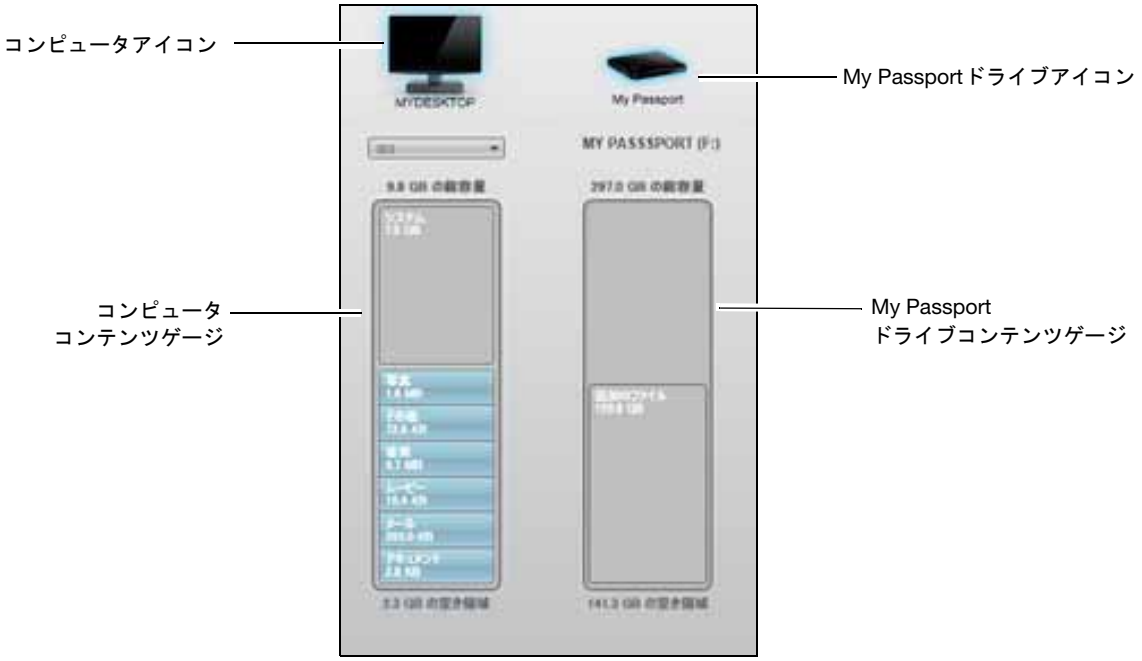

コンピュータアイコン
My Passport ドライブアイコン
MYDESKTOP
My Passport
MY PASSSPORT (F:)
コンピュータ
コンテンツゲージ
My Passport
ドライブコンテンツゲージ

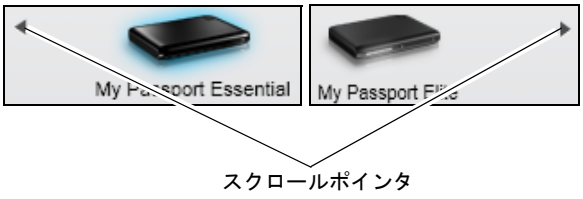
図 8. ［ホーム］タブ表示

表 1. [ホーム] タブの機能の説明

表示コンポーネント	詳細
コンピュータ アイコン	WD SmartWare ソフトウェアがバックアップおよび復元実行時にアクセスするコンピュータの内蔵ハードドライブまたはドライブパーティションのグラフィック表示と名前。 アイコンを右クリックすると表示されるメニューから **[プロパティ]** を選択すると、Windows の [システムのプロパティ] ダイアログが表示されます。 
内蔵ドライブ選択ボックス	（14 ページの図 8 には表示されていません。） コンピュータが複数のハードドライブまたはパーティションを持つ場合、WD SmartWare ソフトウェアはコンピュータアイコンの下に選択ボックスを表示します。選択ボックスを使用してバックアップまたは取得に使用するハードドライブまたはパーティションを指定します。 
My Passport ドライブ アイコン	コンピュータに接続されている My Passportのグラフィック表示と名前。 複数の My Passport ドライブをコンピュータに接続している場合、バックアップまたは復元に使用するドライブのアイコンを左クリックします。WD SmartWareソフトウェアは、選択したドライブを明るい青色の背景でハイライトします。  ドライブアイコンを右クリックすると、以下のようなメニューが表示されます。 ・ **開く** – Windowsエクスプローラでドライブの内容を表示します ・ **プロパティ** – Windows の［ドライブのプロパティ］ダイアログを表示します ・ **安全な削除** – システムがドライブの接続解除の準備をします 

（続き）

表 1. [ホーム] タブの機能の説明 （続き）

表示コンポーネント	詳細
ドライブ表示スクロールポインタ	（14 ページの図 8 には表示されていません。） 1 つの WD SmartWare ソフトウェアのインストールによって、システムが処理できる最大数の My Passport ドライブがサポートされます。接続されているドライブ数のすべてを表示できない場合、左右にあるドライブ表示スクロールポインタを使って、すべてのドライブを確認することができます。 
ご使用のコンピュータのコンテンツゲージ	コンピュータの内蔵ハードドライブに関するコンテンツゲージには、カテゴリタイプのバックアップ対象となるすべてのファイルが、以下の 6 つのカテゴリ内に青い背景色で表示されます。 **ファイルのカテゴリ** — **対象ファイルの拡張子** **ドキュメント** — .doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、およびその他のドキュメントの拡張子 **メール** — .mail、.msg、.pst、およびその他のメールの拡張子 **音楽** — .mp3、.wav、.wma、およびその他の音楽の拡張子 **ムービー** — .avi、.mov、.mp4、およびその他のムービーの拡張子 **写真** — .gif、.jpg、.png、およびその他の写真の拡張子 **その他** — 主要な 5 つのカテゴリに属さないその他のファイル 対象ファイル拡張子の一覧については、*support.wdc.com* にアクセスして、WD ナレッジ ベースの回答 ID 3644 を検索してください。

（続き）

表 1. [ホーム] タブの機能の説明 （続き）

表示コンポーネント	詳細
ご使用のコンピュータのコンテンツゲージ（続き）	メモ： ・ 暗い灰色の背景で表示される**システム**カテゴリは、カテゴリ別バックアップの対象にならないオペレーティングシステムファイルです（システムファイル、プログラムファイル、アプリケーション、.tmp および .log ファイルなどの作業ファイル、および Temp フォルダに保存されている*すべての*ファイル）。 ファイルバックアップを実行するとき、**[システム]** カテゴリの名前が **[除外]** に変更されます。［除外］カテゴリには、ファイル バックアップに*含まれなかった*すべてのファイルが含まれます。 ・ Outlook .pst ファイルは頻繁に変更されるため、Outlook .pst ファイルがバックアップされるのは 24 時間に一度のみです。この除外は他のメールアプリケーションファイルには適用されません。 ・ 暗い灰色の背景で表示される**復元**カテゴリは、前のバックアップから復元されたファイルを示します。これらのファイルはカテゴリバックアップには利用できません。 ・ マウスポインタをカテゴリの上に移動すると、カテゴリ内のファイルの数が表示されます。
My Passportドライブのコンテンツゲージ	WD SmartWareソフトウェアのインストール後 – 初回のバックアップを実行する前に、またはドライブからファイルをコピーする前に、My Passportのコンテンツゲージは、**Additional Files** カテゴリに少ない数のファイルを表示します。これらはドライブをインストールしたときにコンピュータの OS が置いたシステムファイルおよび隠しファイルです。 ドライブにバックアップまたはファイルコピーを実行した後、このコンテンツゲージは同じカテゴリのすべてのファイルを、コンピュータの内蔵ハードドライブのコンテンツゲージとして表示します（16 ページの「ご使用のコンピュータのコンテンツゲージ」を参照してください）。

［バックアップ］画面

WD SmartWareソフトウェアは、バックアップするファイルの方法に応じて、2 種類の [バックアップ] 画面表示のいずれか 1 つを表示します。

- カテゴリごと – コンテンツゲージの表示内容と同様
- ファイルごと – コンピュータの内蔵ハードドライブのフォルダ構成と同様

WD SmartWare の [バックアップ] 画面でバックアップおよびバックアップ操作を管理したいファイルまたはファイルのカテゴリの選択を行います。

[バックアップ] 画面の機能概要については、図 9 および 18 ページの図 2 を参照してください。



カテゴリバックアップ表示



ファイルバックアップ表示



図 9. [バックアップ] 画面

表 2. [バックアップ] 画面の機能

表示コンポーネント	詳細
ご使用のコンピュータのコンテンツゲージ	[ホーム] 画面に表示される、コンピュータの内蔵ハードドライブのコンテンツゲージと同様（16 ページの「ご使用のコンピュータのコンテンツゲージ」を参照してください）。
My Passportドライブのコンテンツ ゲージ	[ホーム] 画面に表示されるMy Passportドライブのコンテンツ ゲージと同様（17 ページの「My Passport ドライブのコンテンツゲージ」を参照してください）。

（続き）

表 2. [バックアップ] 画面の機能 （続き）

表示コンポーネント	詳細
バックアップ詳細表示領域	WD SmartWare ソフトウェアの初期設定では、カテゴリバックアップモードで全ファイルのバックアップを行う設定となっています。この設定では、バックアップ詳細表示領域はブランクです。 **[詳細表示]** をクリックするとバックアップファイルの選択ボックスが表示され、バックアップするファイルのカテゴリを指定できます。  バックアップファイルの選択ボックスで **[変更を適用する]** をクリックすると、コンピュータおよび My Passport ドライブのコンテンツゲージを更新します。 **[ファイルバックアップに切り替える]** をクリックすると、フォルダー覧が表示され、バックアップする個々のファイルまたはフォルダを指定できます。  *ご注意:* ［バックアップ］画面では、フォルダー覧とコンピュータのコンテンツゲージは入れ替わりで表示されます。 ファイルバックアップモード初期 / デフォルト設定では、選択されているファイル / フォルダは*ありません*。バックアップしたいファイルまたはフォルダを選択した後、 ・ **[変更を適用する]** をクリックすると My Passport ドライブのコンテンツゲージがアップデートされます。 ・ **[元に戻す]** をクリックすると直近の選択が解除され、前に適用された設定が再表示されます。

（続き）

表 2. [バックアップ] 画面の機能 （続き）

表示コンポーネント	詳細
［バックアップの開始/バックアップの停止］トグルボタン	バックアップを開始および停止してバックアップ操作をコントロールします。
［ファイルバックアップに切り替える / カテゴリバックアップに切り替える］トグルボタン	カテゴリバックアップとファイルバックアップのモードを切り替えます。 ・ カテゴリモード – コンピュータと My Passportドライブのカテゴリゲージに示されているように、カテゴリによるファイルのバックアップを行います。 カテゴリモードの場合、ボタン名は **[ファイルバックアップに切り替える]** です。 ・ ファイルモード–コンピュータのフォルダー一覧からファイルのバックアップを行います。 ファイルモードの場合、ボタン名は **[カテゴリバックアップに切り替える]** です。

［復元］画面

WD SmartWare ソフトウェアの［復元］画面では、お客様が手順を確認しながらバックアップファイルの検出処理およびコンピュータの内蔵ハードドライブへのコピー処理が行えます。

- 復元するバックアップ ボリュームの選択
- 復元したファイルの保存先の選択
- My Passportドライブから復元するファイルの選択

[復元] 画面の機能概要については、図 10 および 21 ページの図 3 を参照してください。

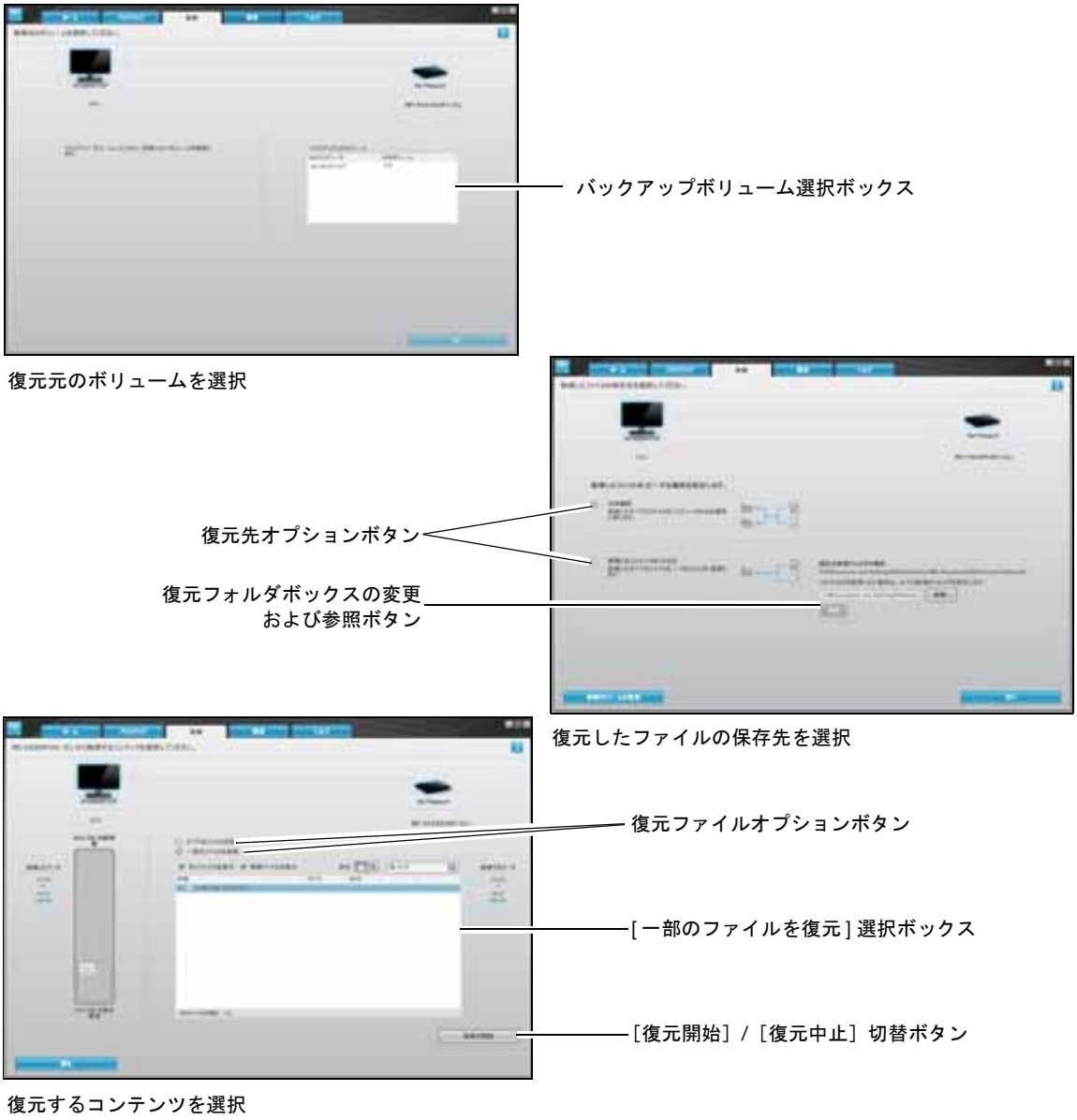


図 10. [復元] 画面

表 3. [復元] タブの機能の説明

表示コンポーネント	詳細
バックアップボリューム選択ボックス	選択した My Passport ドライブでファイルを復元できるバックアップ済みボリュームを一覧表示します。 バックアップ ボリュームを選択しないと、**[次へ]** をクリックして復元操作を続行することが*できません*。
復元フォルダボックスの変更および検索ボタン	WD SmartWareソフトウェアはデフォルトで、ご利用のユーザー名の [マイ ドキュメント] フォルダに [復元したコンテンツ] という名前のフォルダを作成します。別のフォルダを指定したい場合は、検索機能を使って **[適用]** をクリックします。

（続き）

表 3. [復元] タブの機能の説明 （続き）

表示コンポーネント	詳細
復元先オプション ボタン	指定した My Passport ドライブから復元したファイルをコピーするための、コンピュータの内蔵ハードドライブ上の場所を指定します。 ・ **[元の場所]** は復元されたファイルをバックアップされた元の同じ場所にコピーします。 ・ **[復元されたコンテンツ フォルダ]** は復元されたすべてのファイルを単一のフォルダにコピーします。
復元ファイル オプション ボタン	デフォルトでは、**[一部のファイルを復元]** オプションが選択されています、選択した場合、[一部のファイルを復元] 選択ボックスが表示され、ファイルまたはフォルダのみを検索して復元できます。 **[すべてのファイルを復元]** を選択すると、[一部のファイルを復元] 選択ボックスが閉じ、WD SmartWareソフトウェアは、選択した My Passportドライブ上の、選択したバックアップボリュームから、すべてのファイルを復元します。
[一部のファイルを復元] 選択ボックス	選択した My Passport ドライブ上の、選択したバックアップ ボリュームからのすべてのファイルを、フォルダー一覧で表示します。フォルダの一覧には、個々のファイルまたはフォルダを選択できるチェック ボックスが表示されます。 
[復元の開始 / キャンセル] トグル ボタン	復元を開始およびキャンセルして復元操作をコントロールします。

［設定］画面

［設定］画面の機能概要については、図 11 および表 4 を参照してください。



図 11. [設定] 画面

表 4. [設定] タブの機能

表示コンポーネント	詳細
ファイルの履歴ボタン	[ファイルの履歴] ダイアログを表示して、ファイルごとに保存したいバックアップ バージョンの数を指定します。
バックアップ速度ボタン	[バックアップ速度の低下] ダイアログを表示して、コンピュータがアイドル状態のときにのみバックアップを実行するオプションを有効 / 無効にします。
復元フォルダ ボタン	[復元フォルダの設定] ダイアログを表示して、ファイルに別の保存先を指定します。
環境設定ボタン	［環境設定］ダイアログを表示して、ソフトウェアアップデートの自動確認オプションを有効、または無効にします。

[ヘルプ] 画面

WD SmartWare の [ヘルプ] 画面を使うと、ラーニング センターのトピックやオンライン サポート サービスへのリンクを簡単に利用できます。

[ヘルプ] 画面の機能概要については、図 12 および 表 5 を参照してください。

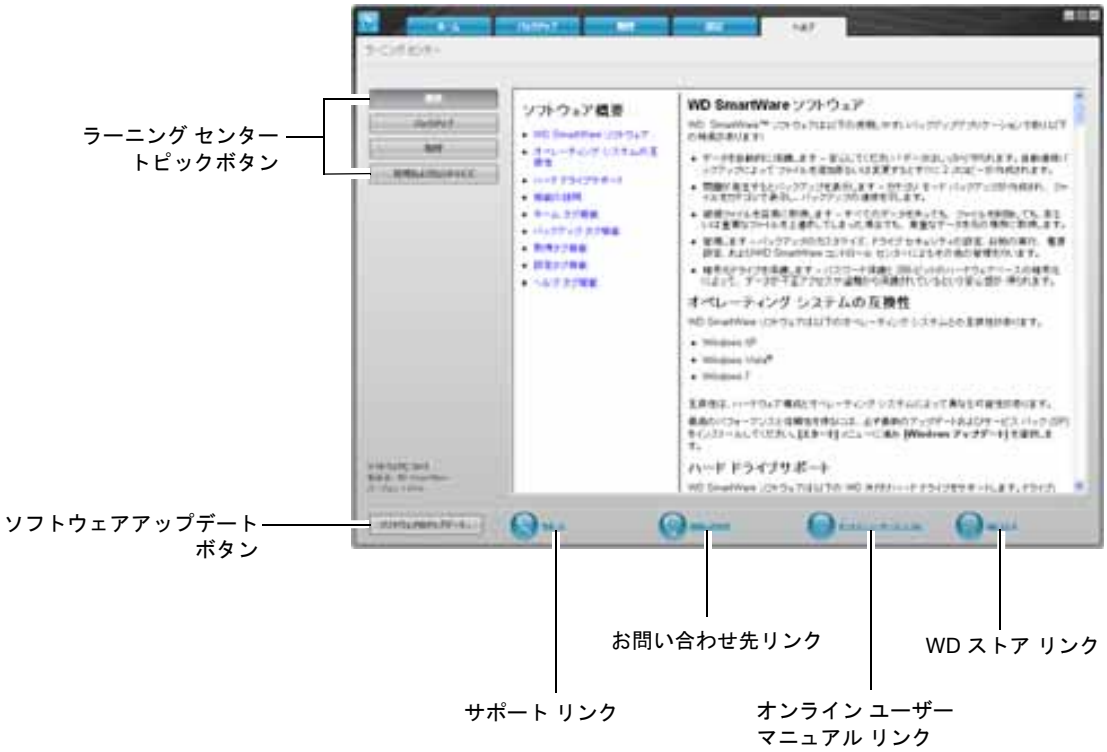


図 12. [ヘルプ] 画面

表 5. [ヘルプ] タブの機能

表示コンポーネント	詳細
お問い合わせ先リンク	ブラウザを使用して*http://support.wdc.com/contact*にアクセスし、お問い合わせ先をご確認ください。
ラーニングセンター トピックボタン	主なラーニング センターのヘルプ トピックへのリンクを表示します。 ・ 概要 ・ バックアップ ・ 復元 ・ 管理およびカスタマイズ
オンラインユーザー マニュアルリンク	ブラウザを使用して以下の URL にアクセスし、WD SmartWare マニュアルを参照してください。 *http://www.wdc.com/wdproducts/wdsmartware/um.asp*. ここで、My Passportドライブのオンライン バージョンのユーザー マニュアルを選択して開くことができます。

（続き）

表 5. [ヘルプ] タブの機能 （続き）

表示コンポーネント	詳細
サポートリンク	ブラウザを使用して *http://support.wdc.com* にアクセスし、「サービス & サポート」ページをご覧ください。
ソフトウェア アップデートボタン	ブラウザから、WD SmartWare ソフトウェアのバージョン および選択したMy Passport ドライブの最新ファームウェアバージョンを比較してください。 最新のソフトウェアまたはファームウェアが利用できる場合、WD SmartWare はそれをダウンロードしてインストールするようにメッセージ表示します。
WD ストアリンク	ブラウザを使用して以下の URL にアクセスし、WD オンラインストアをご利用ください。*http://store.westerndigital.com/store/wdus*.

4 コンピュータ ファイルのバックアップ

この章では以下のトピックを取り上げます。

バックアップ機能の仕組み
ファイルのバックアップ

バックアップ機能の仕組み

WD SmartWare ソフトウェアはすべての大事なデータ（音楽、映画、写真、文書、メール、およびその他のファイル）を自動的、かつ連続的に My Passport ハードディスクドライブにバックアップします。

WD SmartWare ソフトウェアがご使用のコンピュータの内蔵ハードドライブにあるファイルを種類ごとに分類した後、**[バックアップの開始]** ボタンをクリックすると、分類したすべてのファイルがバックアップされます。あるいは、ユーザーは、特定のファイル、フォルダまたはファイルのカテゴリを選択してバックアップすることができます。

バックアップを実行すると、WD SmartWare ソフトウェアにより次のファイルがバックアップされ、ファイルが保護されます。

- 内蔵ハードドライブに作成される、またはコピーされる新しいファイル
- 変更される既存のファイル

この保護は自動的に行われ、WD SmartWare ソフトウェアはユーザーが何をしなくてもそれを実行し、コンピュータに接続されている My Passportドライブに任せます。

ご注意： 自動バックアップ保護は、My Passportドライブがコンピュータに接続されている限り、連続的に実行されます。したがって、ドライブをコンピュータから外して再接続すると、WD SmartWare ソフトウェアは必ずコンピュータを再スキャンし、新しい、あるいは変更されたファイルを探して自動的な連続バックアップを再開します。

ファイルのバックアップ

ファイルをバックアップするには :

1. [ホーム] 画面で以下の操作を実行します。
   a. カテゴリ別にファイルのバックアップを行い、かつコンピュータに内蔵ハード ドライブまたはドライブ パーティションが複数存在する場合、コンピュータ アイコンの下にある内蔵ドライブ選択ボックスを使って最初にバックアップしたいものを選択します。



   b. 複数の My Passportドライブがコンピュータに接続されている場合、ファイルをバックアップしたいドライブを選択します。



2. **[Backup（バックアップ）]** タブをクリックし、[Backup（バックアップ）] 画面を表示します（18 ページの図 9 を参照）。
3. [バックアップ] 画面で以下の操作を実行します。

内蔵ハードドライブに 以下をバックアップする場合	操作
すべてのファイル カテゴリ	ステップ 4 に進みます。
選択したファイル カテゴリ	ステップ 5 に進みます。
すべてのファイルとフォルダ	28 ページ の ステップ 6 に進みます。
選択したファイルまたはフォルダ	29 ページのステップ 7 に進みます。

4. 内蔵ハードドライブ上のファイルのカテゴリをすべてバックアップするには
   a. バックアップ モードがカテゴリになっており、[バックアップ] 画面の左上端に **[カテゴリのバックアップを実行できます]** が表示されることを確認します。

      バックアップモードがファイルになっており、**[ファイルのバックアップを実行できます]** が表示されている場合は、**[カテゴリのバックアップに切り替える]** ボタンをクリックし、表示される **[バックアッププランの切り替え]** ダイアログで **[OK]** をクリックします。

   b. **[詳細表示]** をクリックしてカテゴリ別バックアップ選択ボックスを開き、6 つのカテゴリすべてのチェックボックスが選択されていることを確認します。



   c. 必要に応じて、オフになっているチェックボックスを選択し、**[変更を適用する]** をクリックしてカスタム バックアップ プランを作成し、My Passport ドライブのコンテンツ ゲージを更新します。

   d. **[バックアップの開始]** をクリックして、内蔵ハードドライブ上のファイルの全カテゴリのバックアップを開始します。次に、30 ページのステップ 8 に進みます。

5. 選択したファイル カテゴリをバックアップする方法 :

a. バックアップ モードがカテゴリになっており、[バックアップ] 画面の左上端に **[カテゴリのバックアップを実行できます]** が表示されることを確認します。

バックアップモードがファイルになっており、[**ファイルのバックアップを実行できます**] が表示されている場合は、[**カテゴリのバックアップに切り替える**] ボタンをクリックし、表示される［**バックアッププランの切り替え**］画面で［**OK**］をクリックします。

b. **[詳細表示]** をクリックすると、カテゴリ選択ボックス別にバックアップを表示します。



c. カテゴリ選択ボックス別のバックアップでは :

- バックアップから除外するファイルのカテゴリのチェックボックスをオフにする
- 必要に応じてバックアップに含めるファイルのカテゴリのチェックボックスをオンにします。

d. **[変更を適用する]** をクリックしてカスタム バックアップ プランを作成し、My Passportドライブのコンテンツ ゲージを更新します。

e. ［**バックアップの開始**］をクリックして、選択したカテゴリのバックアップを開始します。次に、30 ページのステップ 8 に進みます。

6. 内蔵ハードドライブのすべてのファイルおよびフォルダをバックアップする方法 :

a. バックアップ モードがファイルになっており、[バックアップ] 画面の左上端に **[ファイルのバックアップを実行できます]** が表示されることを確認します。

バックアップモードがカテゴリになっており、[**ファイルのバックアップを実行できます**] が表示されている場合は、[**ファイルのバックアップに切り替える**] ボタンをクリックし、表示される［**バックアッププランの切り替え**］ダイアログで［**OK**］をクリックします。

b. ［ファイルを選択してバックアップ］ボックスで［コンピュータの内蔵ハードドライブ］チェックボックスをオンにします：



コンピュータに複数の内蔵ハードドライブがある場合は、それぞれのハードドライブについてチェックボックスをオンにします。

c. **[変更を適用する]** をクリックしてカスタム バックアップ プランを作成し、My Passportドライブのコンテンツ ゲージを更新します。

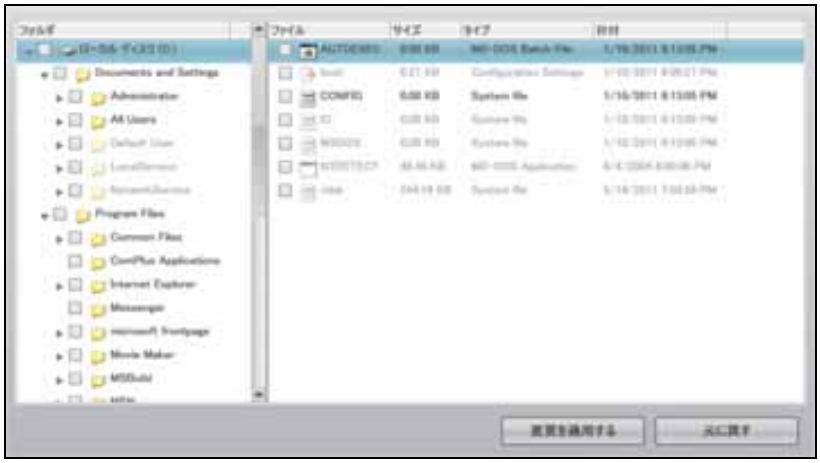
d. **［バックアップの開始］** をクリックして、内蔵ハードドライブ上の全ファイルおよび全フォルダのバックアップを開始します。次に、30 ページのステップ 8 に進みます。

7. 選択したファイルまたはフォルダをバックアップする方法：

a. バックアップ モードがファイルになっており、[バックアップ] 画面の左上端に **[ファイルのバックアップを実行できます]** が表示されることを確認します。

バックアップモードがカテゴリになっており、**［ファイルのバックアップを実行できます］** が表示されている場合は、**［ファイルのバックアップに切り替える］** ボタンをクリックし、表示される **［バックアッププランの切り替え］** 画面で **［OK］** をクリックします。

b. ファイル選択ボックス別のバックアップでは、ポインタをクリックしてフォルダ構造を展開します。



c. バックアップしたい個々のファイルまたはフォルダのチェックボックスを選択します。

注意：［フォルダ］チェックボックスがオンの場合、自動的にフォルダ内のサブフォルダも選択されます。

d. **[変更を適用する]** をクリックしてカスタム バックアップ プランを作成し、My Passportドライブのコンテンツ ゲージを更新します。

ご注意： **[元に戻す]** をクリックすると直近の選択が解除され、前に適用された設定が再表示されます。

e. **[バックアップの開始]** をクリックして選択したファイルまたはフォルダのバックアップを開始し、ステップ 8 に進みます。

8. バックアップ中の動作。

- 進行状況バーとメッセージはバックアップされたデータ量を表示します。
- カテゴリのバックアップでは、コンピュータの内蔵ハードドライブのコンテンツ ゲージの青色の背景が、まだバックアップされていないすべてのファイルについては黄色 / こはく色に変わります。
- My Passport ドライブのコンテンツ ゲージにあるカテゴリまたはファイルの灰色の背景はバックアップが完了すると青色に変わります。
- WD SmartWare ソフトウェアはファイルをバックグランドでバックアップするため、お手持ちのドライブの設定や他の機能の実行を継続することができます。
- **[バックアップの開始]** ボタンが **[バックアップの停止]** ボタンに切り替わります。このボタンはバックアップを中止する場合に使用します(30 ページのステップ 10 を参照してください)。

9. バックアップの正常終了メッセージが表示される場合は、バックアップが正常に完了したことを示します。

バックアップできないファイルがあった場合、WD SmartWare ソフトウェアは以下を表示します。

- 関連ファイルの数を示す警告メッセージ
- クリックして、バックアップされなかったファイルの一覧と理由を見ることができる表示リンク

一部のアプリケーションや実行中のプロセスではファイルがバックアップされないことがあります。一部のファイルがバックアップされなかった理由がわからない場合は、以下の操作を実行してください。

- 開いているファイルをすべて保存して閉じる
- メールソフトやブラウザなどの実行しているすべてのアプリケーションを閉じる

重要： ドライブがいっぱいであることを示す警告メッセージが表示される場合は、バックアップを完了するのに十分な空き容量がないことを示します。

最良の長期的なソリューションは、ドライブを長期のアーカイブ ストレージに格下げし、以下の操作を実行することです。

a. **[ヘルプ]** タブをクリックします。

b. **[WD ストア]** リンクをクリックして Western Digital のオンライン ストアの Web サイトを表示します。

c. **[External Hard Drives（外付けハードドライブ）]** をクリックし、将来の要求に最適なドライブを選択します。

10. ステップ 8 で **[バックアップの停止]** をクリックした場合、**[バックアップを中止しますか？]** という確認メッセージが表示されます。メッセージは、WD SmartWare ソフトウェアがバックグラウンドでバックアップを行うので、バックアップ中は コンピュータで他の操作が行えることへの注意も促します。

継続するには、以下のいずれかをクリックします。

- **[バックアップの継続]** – 一時停止要求を無視してバックアップを再開する
- **[バックアップの中止]** – 一時停止要求を実行し、バックアップを中止する

11. ファイルをカテゴリ別にバックアップし、コンピュータに 1 つの内蔵ドライブまたは複数のドライブ パーティションハードドライブが存在する場合、それぞれに対してバックアップ手順を繰り返します。

5 バックアップファイルを復元

この章では以下のトピックを取り上げます。

復元機能の仕組み
ファイルの復元

復元機能の仕組み

WD SmartWare ソフトウェアでは、My Passportドライブからバックアップされたファイルを簡単に復元して以下のいずれかにコピーすることができます。

- コンピュータ上の元の場所
- 特別な復元フォルダ

復元は通常 5 つのステップで実行します。

1. [ホーム] 画面で復元するファイルが保存された My Passportドライブを選択します。
2. 復元したファイルを含むバックアップ ボリュームを選択します。
3. 復元したファイルの保存先を選択します – [保存するフォルダに指定する]、または[元の場所に保存する]
4. 復元する対象を選択する – [個別のファイルを復元する]、[フォルダを復元する]、または [すべてを復元する]
5. ファイルを復元します。

ファイルの復元

ファイルを復元するには以下の手順を実行します。

1. [ホーム] 画面で以下の操作を実行します。
   a. コンピュータに複数の内蔵ハードドライブまたはドライブパーティションが存在する場合、コンピュータ アイコンの下にある内蔵ドライブ選択ボックスを使って復元したファイルのコピー先を選択します。

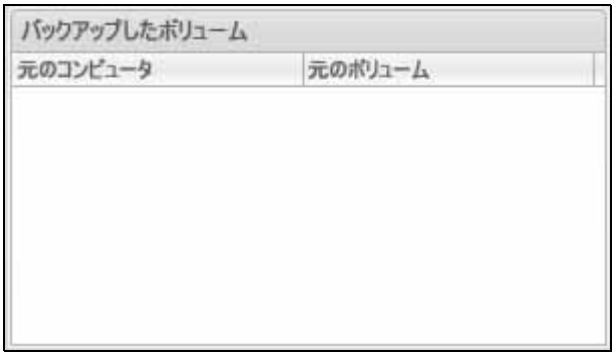


   b. コンピュータに接続されている My Passportドライブが複数存在する場合、復元したいファイルのあるドライブを選択します。



2. **[復元]** タブをクリックして、次のいずれかを表示します。
   - [復元されたファイルの保存先を選択] ダイアログ
   - [復元元のボリュームを選択してください] ダイアログ

   (21 ページの図 10 を参照してください)。

実行した処理	WD SmartWare ソフトウェアの表示
選択した My Passport ドライブ上にコンピュータから 1 つのバックアップを作成	[復元されたファイルの保存先を選択] ダイアログ :  33 ページ の ステップ 3 に進みます。
以下のいずれかから、選択した My Passportドライブに複数のバックアップボリュームを作成 ・ コンピュータの別の内蔵ハードドライブまたはハードドライブの一部 ・ 異なったコンピュータ	**[バックアップしたボリューム]** 選択ボックス内に利用可能なボリュームが表示されている [復元元のボリュームを選択してください] ダイアログ :  この場合、 a. [**バックアップしたボリューム**] の選択ボックスで、復元元ファイルにしたいボリュームを選択します。 b. **［次へ］** をクリックして［復元されたファイルの保存先を選択］ダイアログを表示します。 c. 33 ページ の ステップ 3 に進みます。
選択した My Passportドライブでバックアップを作成していない	**[バックアップしたボリューム]** 選択ボックスに何も表示されていない [復元元のボリュームを選択してください] ダイアログ :  バックアップ ボリュームを持たないドライブからはファイルを復元することはできません。**［ホーム］** タブをクリックして 31 ページのステップ 1-b に戻り、復元したいファイルが保存されている My Passportドライブを選択します。

3. [復元されたファイルの保存先を選択] ダイアログ :

復元されたファイルのコピー先が以下の場合	以下をクリック
コンピュータの内蔵ハードドライブ上の元の位置	**[元の場所]** *ご注意 :* **[元の場所]** は、31 ページのステップ 2 で他のコンピュータからバックアップボリュームを選択した場合には使用できません。
復元したコンテンツのフォルダ	**復元したコンテンツ**のフォルダ デフォルトのフォルダは [マイ ドキュメント] フォルダにある [復元したコンテンツ] です。 別のフォルダを指定するには、以下の手順を実行します。 a. **[参照]** をクリックして、新しいフォルダを指定します。 b. **[適用]** をクリックして新しいフォルダを保存し、確定します。

4. **[次へ]** をクリックして［復元するコンテンツの選択 ...］ダイアログを表示します。

復元する内容（選択したバックアップボリュームから）	以下をクリック
すべてのファイル	**[すべてのファイルを復元]** を選択して 34 ページのステップ 6 に進みます。 
選択したファイルまたはフォルダ	**[一部のファイルを復元]** を選択して［一部のファイルを復元]ボックスを開き、34 ページのステップ 5 に進みます。 

5. [一部のファイルを復元] 選択ボックスのフォルダー一覧で対象とするファイルを見つけます。[検索] ボックスを使って、ファイルまたはフォルダの名前（または名前の 1 部）を入力し、検索することもできます。

   - **[古いファイルを表示]** チェックボックスを選択して、ファイルの異なったバックアップバージョンを表示します。



   - **[削除されたファイルを表示]** チェックボックスを選択して、削除したバックアップファイルを表示します。



   - **[表示]** アイコンを選択して個々のファイルを表示します。
   - ファイルを検索するには、検索ボックスにファイル名の全体または一部を入力し、**[Enter]** キーを押します。

     検索により絞り込まれた状態を解除するには、検索ボックス内のテキストをすべて削除し、**[Enter]** を押します。
   - 復元したいファイルまたはフォルダのチェックボックスをオンにします。

6. **［復元の開始］** をクリックします。
7. 復元中の動作。
   - [復元] 画面に、指定復元場所にコピーされたデータ量を示す進捗バーとメッセージが表示されます。
   - **[復元のキャンセル]** ボタンを使って、復元を中止することができます。
8. **[復元完了]** メッセージは、復元が完了したことを示します。

   [部分的復元完了] メッセージは、復元するために選択したファイルの一部が指定復元場所にコピーされなかったことを示します。この場合、次のいずれかのメッセージが表示されます。
   - **[ファイルは回復されませんでした]** メッセージは、復元されなかったファイルの数と復元失敗情報画面へのリンクを表示します。**[ファイルの表示]** リンクをクリックして、復元されなかったファイルの一覧と理由を表示します。
   - **[保存先はいっぱいです]** メッセージは、コンピュータに復元を完了するのに十分な空き容量がないことを示します。

6 ドライブのロックとロック解除

この章では以下のトピックを取り上げます。

ドライブのパスワード保護
ドライブのロック解除
パスワードの変更
ドライブロック機能を無効にする

ドライブのパスワード保護

他の人がドライブにアクセスするのではないか心配な場合、また、他の人がドライブ上のファイルを表示できないようにしたい場合は、ドライブをパスワードで保護してください。

注意！ WD セキュリティはドライブのロックやロック解除にパスワードを使います。パスワードを忘れた場合は、ドライブ上のデータにアクセスしたり、新しいデータを書き込むことができなくなります。その場合、ドライブを再度使用するにはドライブ消去が必要になります。

WDセキュリティアプリケーションを使用して以下のことが行えます。

- パスワードを作成する
- パスワードを変更する
- パスワードによる保護を解除する

パスワードを使って、他の人がドライブ上のファイルにアクセスできないようにするには:

1. ［セキュリティ設定］ダイアログを次のいずれかの方法で開きます：
   - デスクトップ上の WDセキュリティショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
   - **［スタート］**>**［（すべての）プログラム］**>**［Western Digital］**>**［WD Apps］**>**［WD セキュリティ ］**を選択



2. コンピュータに複数の My Passportドライブを接続している場合は、パスワードを作成するドライブをクリックします。
3. **[パスワードの選択]** ボックスに最大 25 文字のパスワードを入力します。
4. **[パスワードの確認]** ボックスに再度パスワードを入力します。
5. **[パスワードのヒント]** ボックスにパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
6. **[ユーザーの自動ロック解除を有効にする :]** チェックボックスをオンして、選択したドライブに関する新しいパスワードをコンピュータ上に記憶させます。またはオフにして、記憶させない設定にします。
7. パスワードを忘れた場合にデータを失う可能性があるという警告を読んでください。
8. **[了解しました。]** チェックボックスをオンにして、そのリスクを受け入れることを確認します。
9. **[セキュリティ設定の保存]** をクリックすると、パスワードが保存されドライブのハードウェアの暗号化が有効になります。
10. **[OK]** をクリックして、セキュリティが有効になったことを示すメッセージを閉じます。

注意！ パスワードを作成すると、ドライブは、現在の作業セッションを続けている限り、*[ロック解除]* 状態を維持します。この場合、WDセキュリティは以下のように動作します。

- **コンピュータをシャットダウンした場合、ドライブを外した場合、またはコンピュータがスリープ モードに入った場合、ドライブをロックします**
- **コンピュータを再起動した場合、またはドライブを再接続した場合、**［ユーザーの自動ロック解除を有効にする］を有効に***設定していない限り***、ドライブのロックを解除するためにはパスワードを入力しなければなりません。有効にするためには、パスワードを作成するときにチェックボックスをオンにします。**

ドライブのロック解除

パスワードを設定して、ドライブ上のファイルに他のユーザーがアクセスできないようにした後は、**［ユーザーの自動ロック解除を有効にする］を有効に設定していない限り、**以下の操作を行うときは必ずパスワードを入力しなければなりません。

- コンピュータをシャットダウンして再起動する
- ドライブを外してコンピュータに再接続する
- コンピュータがスリープ モードを終了する

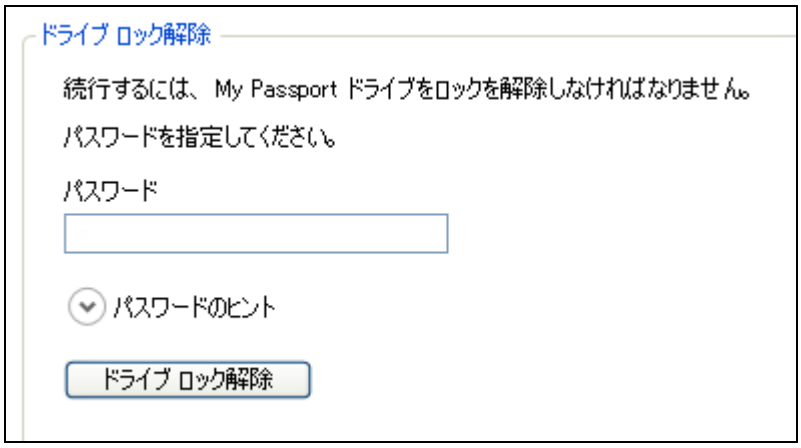
コンピュータにWDセキュリティソフトウェアをインストールしていない場合でも、これを行う必要があります。

コンピュータのソフトウェア設定に応じて、以下の3つの方法のいずれかの方法を選択し、ドライブをロックします。

- WDセキュリティまたは WDドライブユーティリティソフトウェアを使用する
- WD SmartWare ソフトウェアを使用する
- WDドライブアンロックユーティリティを使用する

WDセキュリティまたは WD ドライブユーテリティでドライブのロックを解除する

コンピュータをシャットダウンして再起動したり、ドライブを取り外してコンピュータに再接続して、WDセキュリティ あるいは WD ドライブユーティリティ アプリケーションのいずれかを起動すると [ドライブロック解除] ダイアログが表示されます。



これは以下のいずれかの場合に発生します。

- ロックした My Passportドライブを 1 台だけ所有し、これをコンピュータに接続している場合
- 複数の My Passportドライブがコンピュータに接続されている場合、WDセキュリティまたは WD ドライブユーティリティ画面のいずれかの画面でロックしたドライブを選択した時に実行

ドライブのロックを解除するには、以下の手順を実行します。

1. [ドライブロック解除] ダイアログが表示されない場合は、以下のいずれかをクリックします。
   - デスクトップ上の WDセキュリティショートカットアイコン（アプリケーションのインストール時に作成している場合）をクリック、または **[スタート]** > **[(すべての) プログラム]**> **[Western Digital]** > **[WD Apps]** >**[WD Security] を選択**
   - デスクトップ上の WD ドライブユーティリティアイコン（アプリケーションのインストール時に作成している場合）をクリック、または **[スタート]** > **[(すべての) プログラム]**> **[Western Digital]** > **[WD Apps]** >**[WD Drive Utilities] を選択**
2. コンピュータに複数の My Passportドライブを接続している場合は、ロックを解除するドライブを選択して [ドライブロック解除] ダイアログを表示します。
3. [ドライブロック解除] ダイアログでは :
   a. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
   b. **[ドライブロック解除]** をクリックします。

WD SmartWareソフトウェアを使用してドライブのロックを解除する

コンピュータをシャットダウンまたは再起動した場合、またはドライブをコンピュータに再接続した場合、**[ユーザーの自動ロック解除を有効にする] を有効に**設定していない限り、つまり、パスワードの作成時にチェックボックスをオンにしていない場合は、WD SmartWare ソフトウェアは **[ドライブはロックされています]** というメッセージを My Passport ドライブのコンテントゲージ上に表示します。



WD SmartWareソフトウェアでドライブをロック解除するには、以下の手順を実行します。

1. WD SmartWare で［ドライブをロック解除します。］ダイアログが自動的に表示されない場合は、上部のドライブイメージアイコンをクリックして［ドライブはロックされています］メッセージを表示します。



2. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
3. **[ロック解除]** をクリックします。

WD ドライブアンロックユーティリティを使用してドライブのロックを解除する

パスワードで保護されたドライブを WD SmartWare, WDセキュリティ、または WDドライブユーティリティソフトウェアがインストールされていないコンピュータに接続している場合は、ドライブアンロックユーティリティを使用してそのドライブのロックを解除することができます。ドライブアンロックユーティリティは Windows エクスプローラでマイコンピュータに表示されるバーチャル CDドライブ上にあります。

ドライブのロックを解除するには、以下の手順を実行します。

1. WDドライブアンロックユーティリティを次のいずれかの方法で開きます。
   - ご使用のコンピュータのファイル管理ユーティリティを使用してWD Unlockerバーチャル CDを開き、「Unlock.exe」をダブルクリックします。
   - **[スタート]** > **[マイコンピュータ]** をクリックし、一覧でリムーバブル記憶領域を持つデバイスの下に表示される WD Unlocker バーチャル CD アイコンをダブルクリックします。



2. WDドライブアンロックユーティリティ画面では以下の操作を行います。
   a. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
   b. **[ユーザーの自動ロック解除を有効にする:]** チェックボックスをオンして、WDドライブアンロックに選択したドライブのパスワードをコンピュータ上に記憶させます。またはオフにして、記憶させない設定にします。
   c. **[ドライブロック解除]** をクリックします。
   d. **[ドライブは現在ロックされています]** とメッセージが表示されたら **[終了]** をクリックして WDドライブアンロックユーティリティ画面を閉じます。

パスワードの変更

パスワードを変更するには、以下の手順を実行します。

1. ［セキュリティを変更］ダイアログを次のいずれかの方法で開きます。
   - デスクトップ上の WD セキュリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
   - **［スタート］**>［**（すべての）プログラム**］>［**Western Digital**］>［**WD Apps**］>［**WD セキュリティ] を選択**



2. コンピュータに複数の My Passportドライブを接続している場合は、パスワードを変更するドライブを選択します。
3. **[パスワード]** ボックスに現在のパスワードを入力します。
4. **[パスワードを変更]** オプションを選択します。
5. **[パスワードの選択]** ボックスに最大 25 文字の新しいパスワードを入力します。
6. **[パスワードの確認]** ボックスに再度新しいパスワードを入力します。
7. **[パスワードのヒント]** ボックスに新しいパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
8. **[ユーザーの自動ロック解除を有効にする :]** チェックボックスをオンして、選択したドライブに関する新しいパスワードをコンピュータ上に記憶させます。またはオフにして、記憶させない設定にします。
9. **[セキュリティ設定の更新]** をクリックします。
10. **［OK］**をクリックして、セキュリティが有効になったことを示すメッセージを閉じます。

注意！ パスワードを変更後、現在の処理セッションを終了しない限り、ドライブは *[ロック解除]* 状態となります。この場合、WDセキュリティは以下のように動作します。

- **コンピュータをシャットダウンした場合、ドライブを外した場合、またはコンピュータがスリープ モードに入った場合（構成によります）、ドライブをロックします**
- **コンピュータを再起動した場合、またはドライブを再接続した場合、**［ユーザーの自動ロック解除を有効にする］を有効に***設定していない限り***、ドライブのロックを解除するためにはパスワードを入力しなければなりません。有効にするためには、パスワードを変更するときにチェックボックスをオンにします。

ドライブロック機能を無効にする

ドライブからパスワード保護を解除するには、以下の手順を実行します。

1. ［セキュリティを変更］ダイアログを次のいずれかの方法で開きます：
   - デスクトップ上の WD セキュリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
   - **［スタート］**>**［（すべての）プログラム］**>**［Western Digital］**>**［WD Apps］>［WD セキュリティ] を選択**



2. 複数の My Passport ドライブがコンピュータに接続されている場合、パスワード保護を削除するドライブをクリックします。
3. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
4. **[セキュリティの削除]** オプションを選択します。
5. **[セキュリティ設定の更新]** をクリックします。

7 ドライブの管理とカスタマイズ

この章では以下のトピックを取り上げます。

WD SmartWare アイコンを使用する
WD SmartWare ソフトウェアを開く
ドライブステータスをチェックする
ドライブを安全に取り外す
アイコン アラートの監視
ドライブのスリープタイマーの設定
ドライブの登録
ドライブの健康状態のチェック
ドライブ消去
WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元

WD SmartWareアイコンを使用する

WD SmartWare ソフトウェアをインストールすると、WD SmartWare アイコンがタスクバーのシステムトレイに表示されます。



このアイコンを使って以下のことが行えます。

- WD SmartWareソフトウェアを開く
- ドライブステータスをチェックする
- ドライブを安全に取り外す
- アイコン アラートを監視する

以降のセクションでは、アイコンの使用法およびこれらを行う他の方法について説明します。

WD SmartWareソフトウェアを開く

WD SmartWareが自動的に起動しない場合、次のようにして起動できます。

- タスクバーの WD SmartWareアイコンを左または右クリックして、**WD SmartWare** を選択します。

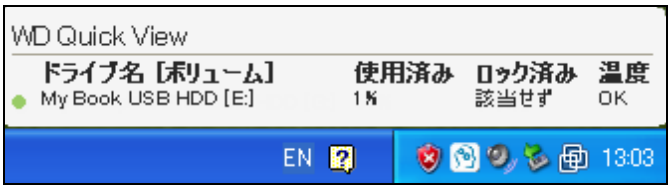


- 以下の順に選択してください：

  [スタート] > **[(すべての) プログラム]** > **[Western Digital]** > **[WD SmartWare]** > **[WD SmartWare]**

ドライブステータスをチェックする

使用されているドライブ容量とドライブ温度のステータスを確認し、タスクバーのWD SmartWareアイコン上にポインタを重ねると、ドライブがロックされているかどうかがわかります。



ドライブを安全に取り外す

注意！ データの損失を防ぐため、ドライブをシャットダウンあるいは切断する前に実行中のウィンドウとアプリケーションをすべて閉じてください。

ドライバは以下のいずれかの方法で安全に取り外すことができます。

- タスクバーの WD SmartWare アイコンを右クリックして、My Passport ドライブの **[安全な削除]** オプションを選択します。



- WD SmartWareの［ホーム］画面でドライブアイコンを右クリックし、表示されるメニューから **[安全な削除]** を選択します。



ドライブの電源が落ちる音が確認できます。
電源 / 動作状況 LED がオフになったことを確認後、ドライブをコンピュータから取り外します。

アイコン アラートの監視

タスクバーの WD SmartWareアイコンは、次のように点滅してドライブステータスを示します。

WD SmartWare アイコンの点滅の状態	ドライブの想定される状態
緑と白	ロックされているか、WD SmartWareソフトウェアが対応していないフォーマットです（Windows環境における非Windowsフォーマット）。
赤と白	高温になっています。 ドライブの電源を切って、60分間冷却してください。電源を再投入した後、まだ問題がある場合は、WDサポートにご連絡ください。

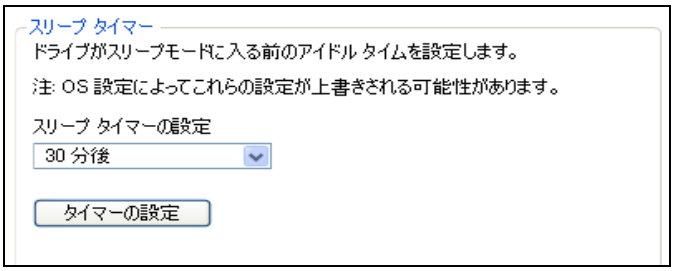
ドライブのスリープタイマーの設定

ドライブのスリープタイマーにより、ハードディスク上で何も処理が行われずに一定の時間が経過した後、ドライブをオフにして電力を節約し、ドライブの磨耗を最小限に抑えます。

ドライブをオフにするまでの時間の長さを設定するには、以下の手順を実行します。

1. WDドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：
   - デスクトップ上のWDドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
   - **［スタート］**>**［（すべての）プログラム］**>**［Western Digital］**>**［WD Apps］**>**［WD Drive Utilities］を選択**

   7 ページの図 4 を参照してください。
2. コンピュータに複数の My Passport ドライブを接続している場合は、スリープタイマーを設定するドライブを選択します。
3. **[スリープタイマー]** をクリックし、[スリープタイマー] ダイアログを表示します。



4. [スリープタイマー] ダイアログで次のことをします。
   a. **［スリープタイマー設定］**ボックスで、ドライブをオフにするまでの時間の長さを選択します。
   b. **[タイマーの設定]** をクリックします。

ドライブの登録

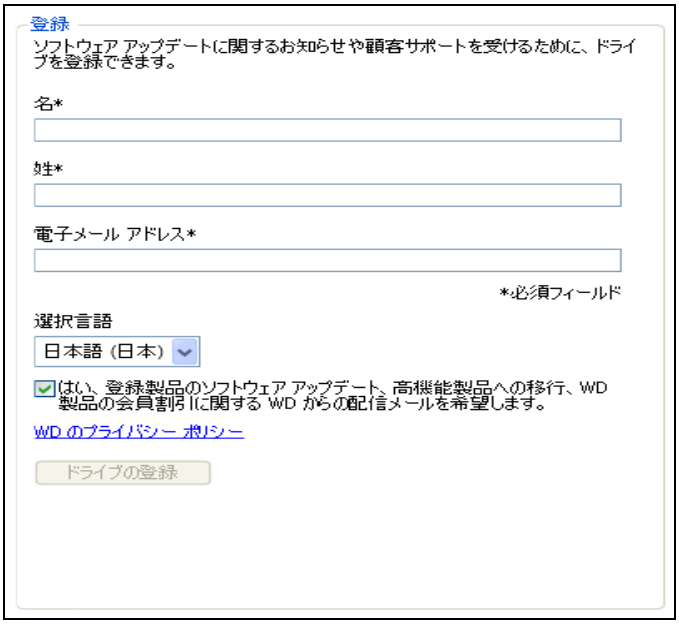
WDドライブユーティリティはコンピュータのインターネット接続を使ってドライブを登録します。ドライブを登録すると、保障期間は無料テクニカルサポートをご利用頂けます。また、最新の WD 製品情報をお届けします。

ドライブを登録するには

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. WDドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：
   - デスクトップ上のWDドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
   - **［スタート］**>**［（すべての）プログラム］**>**［Western Digital］**>**［WD Apps］**>**［WD Drive Utilities］を選択**

   7 ページの図 4 を参照してください。
3. コンピュータに複数のMy Passportドライブを接続している場合は、登録するドライブを選択します。

4. **[登録]** をクリックして、登録ダイアログを表示します。



5. [ドライブの登録] ダイアログで以下の操作を実行します。
   a. **[名]** ボックスに名前を入力します。
   b. **[姓]** ボックスに名字を入力します。
   c. **[電子メール アドレス]** ボックスにメールアドレスを入力します。
   d. **[選択言語]** のプルダウンから言語を選択します。
   e. **[はい、登録製品のソフトウェアアップデート ...]** チェックボックスをオンまたはオフにして、ソフトウェアアップデート、高機能製品情報、割引価格などの案内をメールで受け取るか設定することができます。
   f. **[ドライブの登録]** をクリックします。

ドライブの健康状態のチェック

WDドライブユーティリティは、ドライブのパフォーマンスを確保するために、3 つの診断ツールを備えています。ドライブが正しく動作しているか心配な場合は、以下のテストのいずれかを実行してください。

- SMART ステータス

  SMART は、内蔵ハードディスクのパフォーマンスを継続的にモニタリングする障害予測機能です。たとえば、ハードディスクの温度上昇、ノイズまたは読み取り / 書き込みエラーなどの増加が検出されると、ドライブに深刻な障害が生じつつあることの目安になります。事前にアラートを把握することにより、実際にハードディスクに障害が発生する前にデータを別のドライブに移動するなどの予防措置をとることが可能になります。

  ハードディスクの状態に関する SMART ステータスチェックの結果は、合格または不合格として判定されます。

- クイックドライブテスト

  ご使用の My Passport ドライブには、ドライブのエラー状態の有無をテストする Data Lifeguard™ 診断ユーティリティが内蔵されています。クイックドライブテストではドライブのパフォーマンスに重大な問題がないかをチェックします。

  ハードディスクの状態に関するクイックドライブテストの結果は、合格または不合格として判定されます。

- 完全ドライブテスト

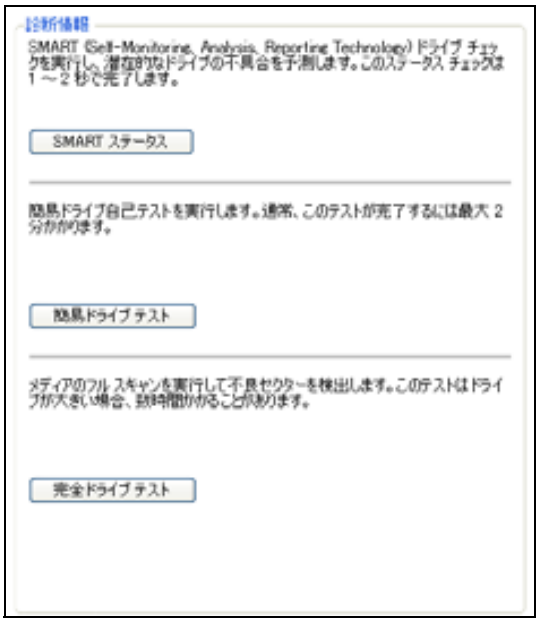
  最も総合的なドライブ診断は、完全ドライブテストです。各セクターのエラー状態の有無を入念にテストし、必要に応じて不良セクターにマーカーを挿入します。

ドライブに問題が発生する前に、ドライブ診断とステータスチェックを定期的に行うことをお勧めします。また、非常に高速なため、すぐに終了できるSMARTステータスチェックとクイックドライブテストは、最小限の負荷で高レベルの保証を提供します。ファイルの書き込みやアクセス時にディスクエラーが発生した場合は、必ず 3 つのテストをすべて実行してください。

ドライブの診断とステータスチェックを実行するには、以下の手順を実行します。

1. WD ドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：
   - デスクトップ上の WDドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
   - **［スタート］**>**［（すべての）プログラム］**>**［Western Digital］**>**［WD Apps］**>**［WD Drive Utilities］を選択**

   7 ページの図 4 を参照してください。
2. コンピュータに複数の My Passport ドライブを接続している場合は、ドライブ診断およびステータスチェックを実行するドライブを選択します。
3. **[診断]** をクリックして、診断実行ダイアログを表示します。



4. [診断情報] ダイアログで、実行したいテストのボタンをクリックします。
   - **SMART ステータス**
   - **クイックドライブテスト**
   - **完全ドライブテスト**

ドライブ消去

注意！ ドライブを完全に消去すると、ドライブにあるすべてのデータが削除されます。ドライブを消去する前に、ドライブ上に必要なデータがないことを必ず確認してください。

ご注意： ドライブを完全に消去すると、WDソフトウェア、すべてのサポート ファイル、ユーティリティ、ユーザーマニュアルもすべて削除されます。ドライブを消去した後、これらのファイルをダウンロードして、My Passportを元の構成に戻すこともできます。

WDドライブユーティリティは、ドライブを消去するための2つの方法を用意しています。My Passportドライブのロックが解除されているか、ロックされてるかによって、使用する方法が以下のように異なります。

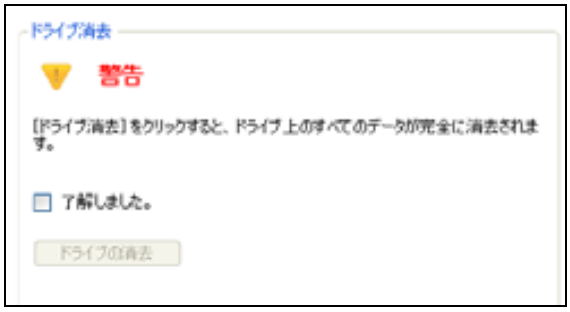
ドライブの状態	ユーザーの目的	操作
ロックが解除されている	*ドライブ*を消去したい	次のセクションの「ドライブの消去機能を使用する」。
ロックされている	パスワードを忘れてしまったため、またはパスワードを消失したためドライブを消去*しなければならない*	48 ページの「WD Drive Unlock Utility を使用する」。

ドライブの消去機能を使用する

ドライブのロックが解除されている場合に My Passportを消去するには

1. WDドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：
   - デスクトップ上のWDドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
   - **［スタート］**>**［（すべての）プログラム］**>**［Western Digital］**>**［WD Apps］**>**［WD Drive Utilities］を選択**

   7 ページの図 4 を参照してください。
2. コンピュータに複数の My Passportドライブを接続している場合は、消去するドライブを選択します。
3. **[ドライブ消去]** をクリックして、[ドライブ消去] ダイアログを表示します。



4. [ドライブ消去] ダイアログで以下の操作を実行します。
   a. ドライブを消去するとデータを失うことに関する警告が表示されます。
   b. 警告を読み、**[了解しました。]** チェックボックスをオンにして、そのリスクを受け入れることを確認します。
   c. **[ドライブの消去]** をクリックします。

ドライブ消去の操作が完了したら、*support.wdc.com* にアクセスして、ナレッジベースの回答ID#6743「My Passportドライブにおけるソフトウェアとディスクイメージのダウンロードと復元の詳細について」を参照してください。

ご注意: ドライブを消去するとパスワードが削除されます。ドライブ保護のためにパスワードを設定していた場合は、WD ソフトウェアとディスクイメージを復元後、再度パスワードを設定してください。（35 ページの「ドライブのパスワード保護」を参照。）

WD Drive Unlock Utility を使用する

ドライブがロックされており、かつパスワードを忘れたか、またはパスワードを消失した場合に My Passportドライブを消去するには、以下の手順を実行します。

1. WD Drive Unlock Utility を次のいずれかの方法で開きます：
   - ご使用のコンピュータのファイル管理ユーティリティを使用して WD Unlocker バーチャルCDを開き、「Unlock.exe」をダブルクリックします。
   - **[スタート]** > **[マイコンピュータ]** をクリックし、一覧でリムーバブル記憶領域を持つデバイスの下に表示されるWD Unlocker バーチャル CD を開き、「Unlock.exe」をダブルクリックします。



2. ドライブのロックを解除するには、以下の操作を5回実行します。
   a. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
   b. **[ドライブロック解除]** をクリックします。

3. 無効なパスワードを5回入力すると、「パスワード回復の試行回数が多すぎます」とメッセージが表示されます。



4. [**ドライブの消去**] をクリックすると、「ドライブ上のすべてのデータが消去されます」と警告が表示されます。



5. 警告を読み、**[了解しました]** チェックボックスをオンにして、そのリスクを受け入れることを確認します。

6. **[消去]** をクリックします。

ドライブ消去の処理が完了したら、*support.wdc.com* にアクセスして、ナレッジベースの回答ID#6743「My Passportドライブにおけるソフトウェアとディスクイメージのダウンロードと復元の詳細について」を参照してください。

ドライブを消去するとパスワードが削除されます。パスワードを使ってドライブを保護したい場合は、WDソフトウェアとディスクイメージを復元した後、パスワードを再度作成します (図 35 ページの「ドライブのパスワード保護」を参照。)

WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元

注意！ ドライブを完全に消去すると、ドライブにあるすべてのデータが削除されます。ドライブを消去する前に、ドライブ上に必要なデータがないことを必ず確認してください。

My Passport ドライブ上の全データの削除、消去、または再フォーマットだけではなく、ドライブ上の WD ソフトウェア、サポートファイル、ユーティリティ、オンラインヘルプおよびユーザーマニュアルのファイルもすべて削除されます。

コンピュータ上の WD ソフトウェアの削除もしくは再インストール、または他のコンピュータに移動したドライブへのソフトウェアのインストールを行う必要がある場合、WDソフトウェアとディスクイメージをドライブに復元する必要があります。この処理を行うために、ドライブの消去または再フォーマットが完了したら、*support.wdc.com* にアクセスして、ナレッジベースの回答ID#5419 を参照してください。

8 ソフトウェアの管理とカスタマイズ

この章では以下のトピックを取り上げます。

バックアップバージョンの数を指定
コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを中断
別の復元フォルダを指定する
ソフトウェアアップデートのチェック
WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール

バックアップバージョンの数を指定

WD SmartWareソフトウェアを使えば、ファイルごとに最大で過去25回の更新履歴をバックアップすることができます。誤ってファイルを上書き、あるいは削除してしまって、数バージョン遡ってファイルを見たい場合でも、WD SmartWareソフトウェアがコピーを保持しているため、そうした場合にも対応できます。最新の指定数分の、ファイルごとの復元可能なバージョンをいつでも利用でき、1から25までのバージョンを常に保持し続けることができます。

より多くのバージョンを保持すると、

- より以前に遡ってファイルを回復できます
- ディスクスペースをより多く使用します

ファイルごとに保存するバックアップバージョンの数を指定するには、以下の手順を実行します。

1. **[設定]** タブをクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します (23 ページの図 11 を参照してください)。
2. ソフトウェアの設定画面で、**[ファイルの履歴]** をクリックし、[ファイルの履歴の設定] ダイアログを表示します。

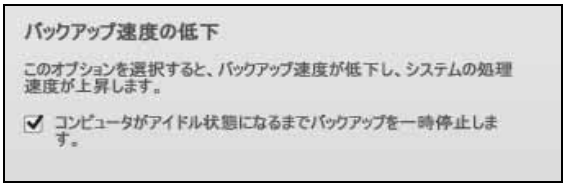


3. [ファイルの履歴の設定] ダイアログで以下の操作を実行します。
   a. 選択ボックスに、各ファイルに対して保存したいバックアップバージョンの数 (1 ～ 25) を指定します。
   b. **[適用]** をクリックします。

コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを中断

サイズの大きなバックアップは時間がかかり、システムのリソースを大量に使用する場合があります。WD SmartWare ソフトウェアはバックグランドで動作するため、コンピュータで動作中は使用するリソースを最小限に抑えられますが、コンピュータがアイドル状態になるまですべてのバックアップを中断したい場合は、[バックアップ速度] オプションを設定します。

1. **[設定]** タブをクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します（23 ページの図 11 を参照してください）。
2. ソフトウェアの設定画面で、**[バックアップ速度]** をクリックし、[バックアップ速度の低下] ダイアログを表示します。



3. [バックアップ速度の低下] ダイアログで、**[コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを一時停止します。]** チェックボックスをオン、またはオフにして、バックアップ速度オプションを有効、または無効を設定します。

別の復元フォルダを指定する

復元を開始すると、復元されたファイルを次のどちらに格納するかを選択できます。

- コンピュータ上の元の場所
- 復元したコンテンツフォルダ

デフォルトで、WD SmartWareソフトウェアは、[復元したコンテンツ] サブフォルダを、[マイ ドキュメント] フォルダに作成します。別のフォルダを指定するには、以下の手順を実行します。

1. 新しいフォルダを作成するか、使用する既存のフォルダを決定します。
2. **[設定]** タブをクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します（23 ページの図 11 を参照してください）。
3. ソフトウェアの設定画面で、**[復元フォルダ]** をクリックし、[復元フォルダの設定] ダイアログを表示します。



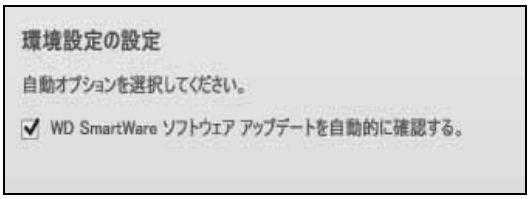
4. [復元フォルダの設定] ダイアログで以下の操作を実行します。
   a. **[参照]** をクリックし、参照機能を使って新しい復元フォルダを確認します。
   b. **[適用]** をクリックします。

ソフトウェアアップデートのチェック

ソフトウェアアップデートのチェックを有効にすると、My Passport ドライブをコンピュータに再接続する都度、環境設定オプションにより、ソフトウェアアップデートのチェックが実行されます。これにより、常に最新のソフトウェアバージョンを使うことができます。

環境設定オプションを有効、または無効にするには以下の手順を実行します。

1. **[設定]** タブをクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します (23 ページの図 11 を参照してください)。
2. [ソフトウェア設定] 画面で **[環境設定]** をクリックして [環境設定の設定] ダイアログを表示します。



3. [環境設定の設定] ダイアログで、**[WD SmartWareソフトウェアアップデートを自動的に確認する。]** チェックボックスをオン、またはオフにして環境設定オプションを有効、または無効に設定します。

WD SmartWareソフトウェアのアンインストール

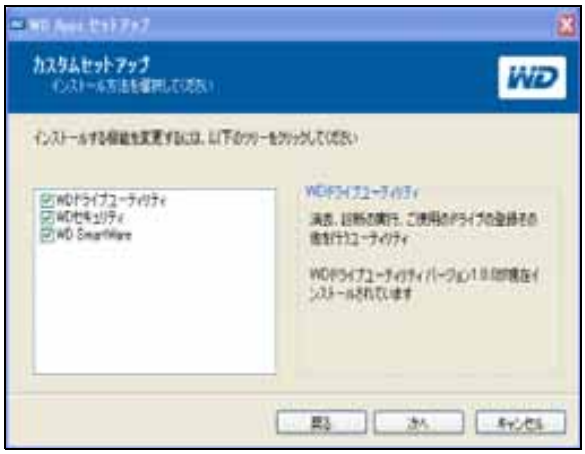
WDソフトウェアをアンインストールする場合は、WD Apps Setupウィザードを使用します。

1. エクスプローラで My Passport ドライブの内容を表示し、一覧から WDApps Setup ファイルをダブルクリックしてWD Apps Setupウィザードを開始します :



2. [**次へ**] ボタンをクリックして使用許諾契約を表示します。
3. 使用許諾契約を読み、**[使用許諾契約に同意します]** チェックボックスをオンにして、**[次へ]** ボタンを使用可能にします。

4. [**次へ**] ボタンをクリックして[カスタムセットアップ] 画面を表示します。



5. ［カスタムセットアップ］画面の操作：
   a. アンインストールしたいアプリケーションのチェックボックスをオフにします。
      - **WD ドライブユーティリティー**
      - **WD セキュリティ**
      - **WD SmartWare**

> **重要**：WD SmartWareのアンインストールによってすべての既存のバックアップジョブ構成が削除されます。ソフトウェアの再インストール後に、バックアップジョブを手動で再起動する必要があります。(26 ページの「コンピュータ ファイルのバックアップ」を参照してください)。

   b. **[次へ]** をクリックして、選択したアプリケーションのアンインストールを実行します。
6. アンインストール完了後、**[終了]** をクリックしてWD Apps Setupウィザードを閉じます。

ご注意： 必要に応じて、OS の［アプリケーションの追加と削除］機能を使用してWDソフトウェアをアンインストールすることもできます。

9

Mac でドライブを使用する

My Passport ハードディスクドライブは、すべての更新済み Windows OS との互換性を保つために、単一の NTFS パーティションとしてフォーマットされています。Mac OS X オペレーティングシステムでこのドライブを使用する場合、また必要に応じて Time Machine を使用する場合は、まずドライブを単一の HFS+J パーティションに再フォーマットする必要があります。

この章では以下のトピックを取り上げます。

ドライブの再フォーマット
WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元
Mac にドライブをインストール

ドライブの再フォーマット

注意！ ドライブを再フォーマットすると、ドライブの内容はすべて消去されます。ドライブにすでにファイルが保存されている場合は、再フォーマットする前に必ずバックアップしてください。

http://support.wdc.com にアクセスして、Macドライブの再フォーマットの詳細について、ナレッジベースの回答ID 3865 を参照してください。

ドライブの再フォーマットに関する詳細は、56 ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。

WDソフトウェアおよびディスクイメージの復元

My Passport ドライブ上の全データの削除と同様に、ドライブの再フォーマットもドライブ上の WD ソフトウェア、サポートファイル、ユーティリティ、オンラインヘルプおよびユーザーマニュアルのファイルをすべて削除します。Macでドライブ管理やドライブ ロック機能を複製する場合は、WDセキュリティおよび WDドライブユーティリティアプリケーションをダウンロードしてインストールすることができます。

WD SmartWareソフトウェアは、本モデルの My Passportドライブ をMacでご使用の場合にはご利用いただけません。

ドライブをMac で使えるように再フォーマットした場合は、*support.wdc.com* にアクセスして、ナレッジベース 回答ID6743 を参照してください。

Mac にドライブをインストール

ドライブをMacで使えるように再フォーマットしたら、以下の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を入れます。
2. USB3.0 ケーブルを 5 ページの図 3 のようにご使用のコンピュータに接続します。
3. ドライブを接続した後、デスクトップに My Passportアイコンが表示されていることを確認します。
4. ダウンロードしたWDセキュリティとWDドライブユーティリティをインストールする場合は、My Passport for Mac ユーザーマニュアルの「ドライブの接続と使用開始」を参照してください。

10

トラブルシューティング

この章では以下のトピックを取り上げます。

ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット
よくある質問

この製品のインストール、または使用中に問題が起きた場合は、このトラブルシューティングセクションを参照してください。より詳細な情報が必要な場合は、サポートウェブサイト「*support.wdc.com*」にアクセスしてWDナレッジベースでさらに検索してください。

ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット

方法	Answer ID
■ Windows (7、Vista、XP、2000) および Mac OS X で WDドライブのパーティション作成やフォーマットする	3865
■ Mac GPT から Windows XP NTFS に再フォーマットする	3645
■ ドライブをMac GPTからWindows 7またはVista NTFSフォーマットに再フォーマットする	3647
■ この製品に同梱されているオリジナルソフトウェアを入手して再インストールする	1425
■ FAT32* で WD ハードドライブをフォーマットする (Windowsおよび MAC OS X)	291

**FAT32ファイル システムでは各ファイルの最大のサイズは4GBであり、Windows では32GBより大きいパーティションは作成できません。ドライブを再フォーマットしてFAT32で32GBを超えるパーティションを作成する場合は、External USB/FireWire FAT32 Formatting Utilityを http://support.wdc.com/product/download からダウンロードしてください。*

Windowsのユーザーは、Windowsディスク管理ユーティリティ、あるいはサードパーティソフトウェアを使ってドライブを NTFS に再フォーマットすることでファイルサイズの制限を克服できます。詳細については、以下を参照してください。

- *Answer ID 291 http://support.wdc.com*
- *Article IDs 314463 および# 184006 support.microsoft.com*
- *適正なサードパーティ ソフトウェア説明書あるいはサポート団体*

よくある質問

***Q**：ドライブに電源が入らないのはなぜですか？*

***A**：*バスパワーの低いコンピュータでは、専用ケーブルが必要になることがあります。詳細については、米国内については弊社のウェブサイト *store.westerndigital.com* をご覧ください。米国外では、地域の WDテクニカルサポートにお問い合わせください。

***Q**：ドライブがマイコンピュータやコンピュータのデスクトップに表示されないのはなぜですか？*

***A**：*システムにUSB3.0、または USB2.0 PCI アダプタカードが装着されている場合、WD USB3.0外付けストレージ製品を接続する前にドライバがインストールされていることを確認してください。USB3.0、または USB2.0ルートハブとホストコントローラのドライバがインストールされていないと、ドライブは正しく認識されません。インストール手順については、アダプタカードの製造元にお問い合わせください。

***Q**：コンピュータを起動する前にUSB ドライブを接続したとき、PC が起動しないのはなぜですか？*

***A**：*システム設定によっては、コンピュータが WD 外付けUSB ドライブから起動しようとする場合があります。ご使用のシステムのマザーボード BIOS に関するドキュメントを参照して、外付けドライブからの起動を無効にしてください。または、「*support.wdc.com*」にアクセスして、WD ナレッジベースの記事1201を参照してください。外付けドライブからのブートに関する詳細については、ご使用のコンピュータのドキュメントを参照してください。または、コンピュータの製造元にお問い合わせください。

***Q**：データ転送レートが遅いのはなぜですか？*

***A**：*USB3.0、またはUSB2.0アダプタカードのドライバが正しくインストールされていないか、またはシステムがUSB3.0、またはUSB2.0に対応していないためにシステムがUSB1.1の速度で動作している可能性があります。

***Q**：システムがUSB3.0、またはUSB2.0 に対応しているかどうかは、どうやったらわかりますか？*

***A**：*USBカードの説明書を参照するか、USBカードの製造元にお問い合わせください。

ご注意： USB3.0、または USB2.0コントローラがシステムのマザーボードに内蔵されている場合は、そのマザーボード対応のチップセットを必ずインストールしてください。詳細に関しては、マザーボードまたはシステムのマニュアルを参照してください。

***Q**：USB3.0、またはUSB2.0デバイスをUSB1.1ポートまたはハブに差し込むとどうなりますか？*

***A**：*USB3.0およびUSB2.0はUSB1.1と下位互換性があります。USB1.1ポートまたはハブに接続すると、USB3.0、またはUSB2.0デバイスは USB1.1の最高速度12Mbpsで動作します。

ご使用のシステムにPCI Expressスロットが装備されている場合、PCI Expressアダプタを装着してUSB転送レートを向上させることができます。取り付け手順および詳細は、カードの製造元にお問い合わせください。

A

SES ドライバのインストール

WDソフトウェアをインストールしない場合は、My Passportドライブをコンピュータに接続するたびにハードウェアウィザードが表示されないようにするために、SESドライバーをWindows PCにインストールしておく必要があります。

ご注意： SES ドライバーは、WD ソフトウェアをインストールする際に自動的にインストールされます。

この付録では以下のトピックを取り上げます。

Windows XP コンピュータにインストールする
Windows Vista にインストールする
Windows 7 にインストールする

Windows XPコンピュータにインストールする

5 ページの図 3 に示すように、ドライブを物理的に接続すると、[（新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。

ご注意： 自動再生が有効になっている場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面と同時に 2 つの追加の画面が表示される場合があります。表示されたら、閉じてください。

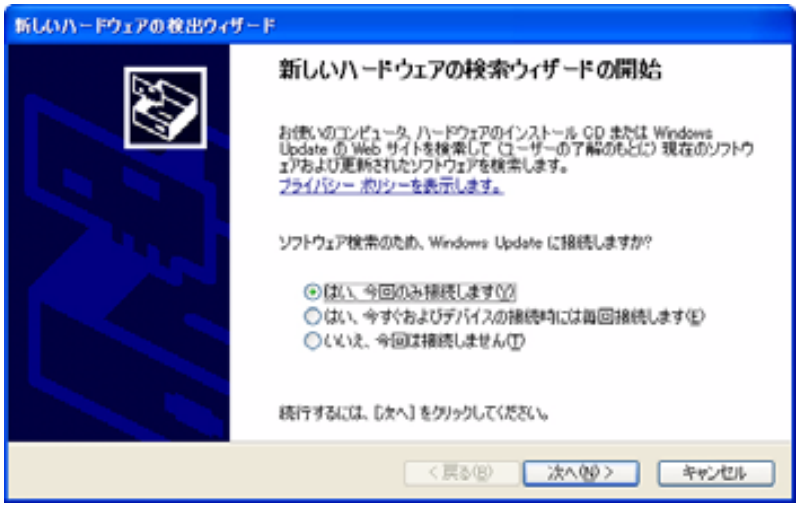
[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面を使用して、以下のいずれかの方法でSESドライバをインストールできます。

- コンピュータがインターネットに接続されている場合は自動的にインストール
- コンピュータがインターネットに接続されているかどうかに関係なく、手動でインストール

ドライバを自動的にインストール

SESドライバを自動的にインストールするには、コンピュータをインターネットに接続する必要があります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、**[はい、今回のみ接続します]** を選択して、Windows XPが Windows Updateに接続できるようにします。

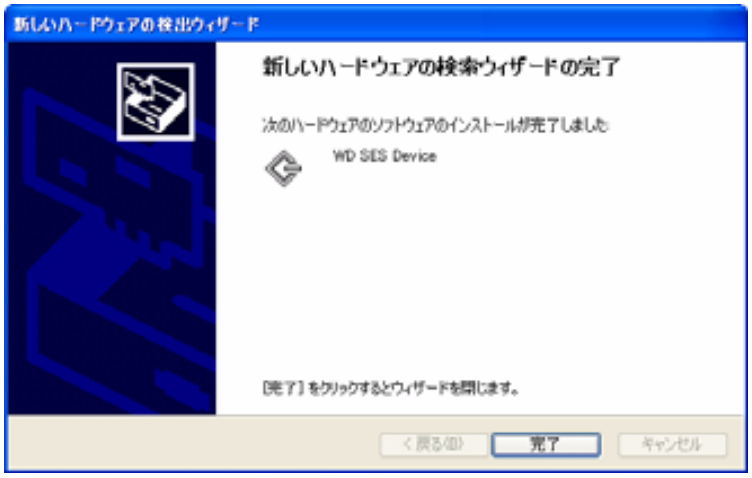


3. **[次へ]** をクリックして作業を続けます。

4. **[ソフトウェアを自動的にインストールする]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。



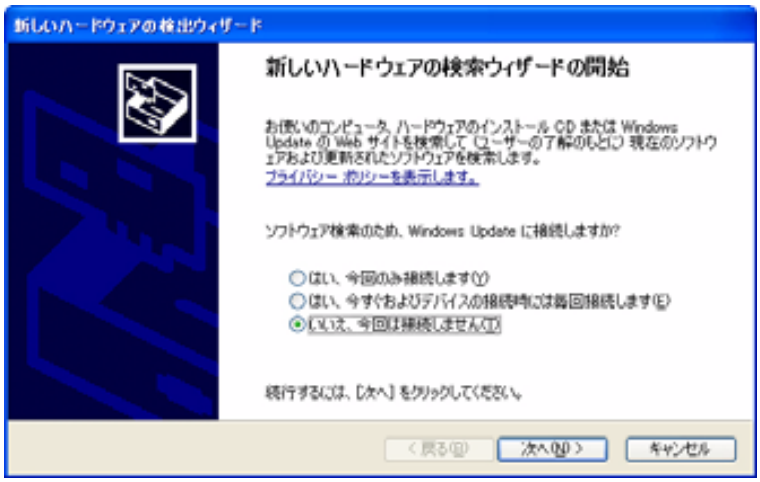
5. インストールが完了したら、**[完了]** をクリックします。



ドライバを手動でインストール

コンピュータがインターネットに接続していない場合は、ドライバを手動でインストールできます。

1. ［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面で、**[いいえ、今回は接続しません]** を選択し、Windows Updateへの接続を行わないようにします。

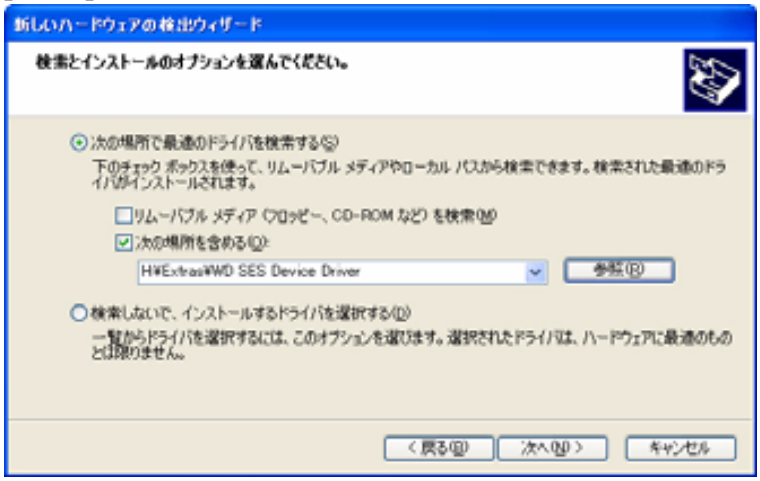


2. **[次へ]** をクリックして作業を続けます。
3. **[一覧または特定の場所からインストールする]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

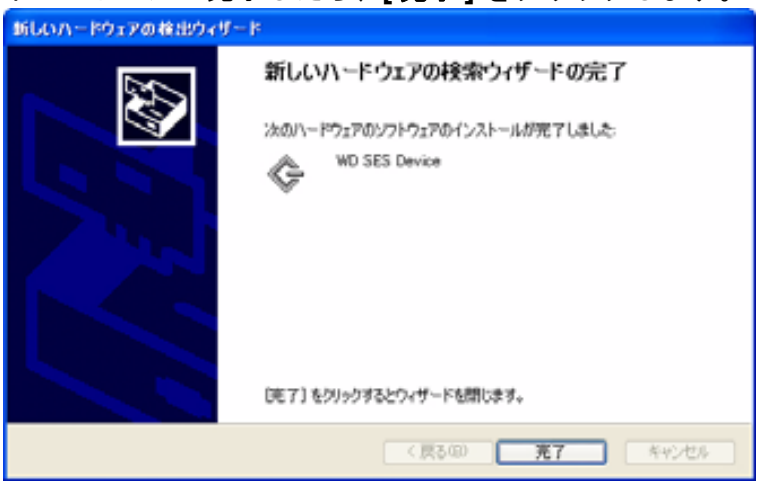


4. **[マイ コンピュータ]** を参照し、以下の手順を実行します。
   a. My Passportドライブをダブルクリックします。
   b. ［Extras］フォルダをダブルクリックします。
   c. **WD SESデバイスドライバ**を選択します。

d. **[次へ]** をクリックします。



5. インストールが完了したら、**[完了]** をクリックします。



Windows Vista にインストールする

5 ページの図 3 に示すように、ドライブを物理的に接続すると、[新しいハードウェアの検出] 画面が表示されます。

ご注意： 自動再生が有効になっている場合、[新しいハードウェアの検出] 画面と同時に2つの追加の画面が表示される場合があります。表示されたら、閉じてください。

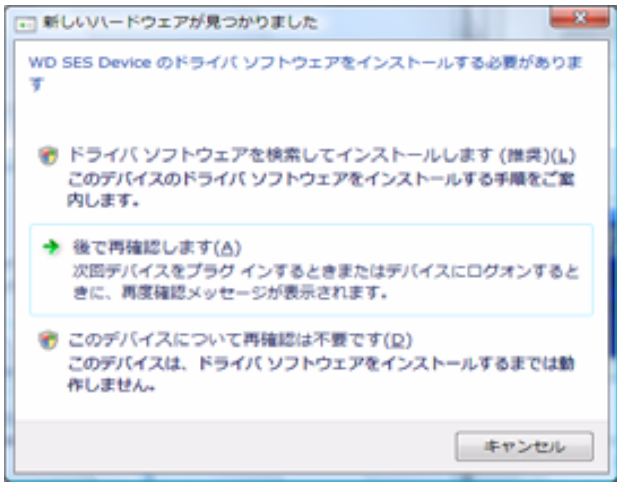
[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面を使用して、以下のいずれかの方法でSESドライバをインストールできます。

- コンピュータがインターネットに接続されている場合は自動的にインストール
- コンピュータがインターネットに接続されているかどうかに関係なく、手動でインストール

ドライバを自動的にインストール

SESドライバを自動的にインストールするには、コンピュータをインターネットに接続する必要があります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. ［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面で、**[ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします]** をクリックします。



3. ［新しいハードウェアの検出 – WD SES］画面で、**[はい、今回のみオンラインで検索します]** をクリックし、Windows VistaがWindows Updateに接続できるようにします。



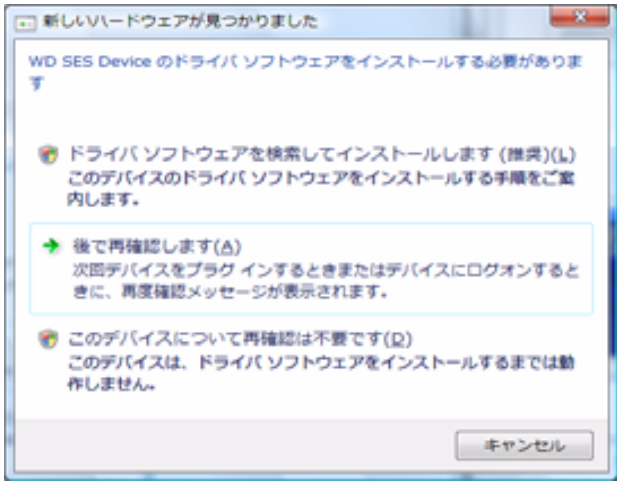
Windows Vistaは自動的に以下を行います。

- Windows Updateに接続
- SESドライバを検出、ダウンロード、およびインストール

ドライバを手動でインストール

コンピュータがインターネットに接続していない場合は、ドライバを手動でインストールできます。

1. ［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面で、**[ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします]** をクリックします。



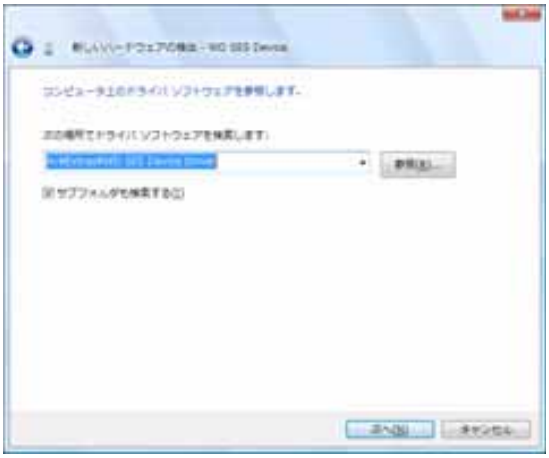
2. ［新しいハードウェアの検出画面ー WD SES］画面で、**［いいえ、今回は接続しません］** を選択します。



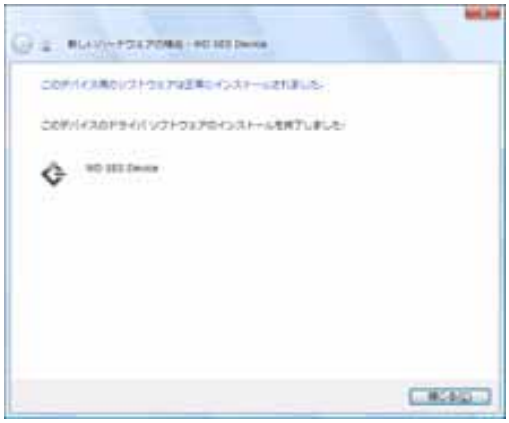
3. **インストールの際、WD SES** デバイスに付属のディスクを挿入するように促された場合、［**ディスクはありません**］をクリックします。**[他の方法を試します]** オプションをクリックします。



4. ［**コンピュータ**］を参照し、以下の手順を実行します。
   a. My Passportドライブをダブルクリックします。
   b. ［Extras］フォルダをダブルクリックします。
   c. **WD SESデバイスドライバ**を選択します。
   d. **[次へ]** をクリックします。



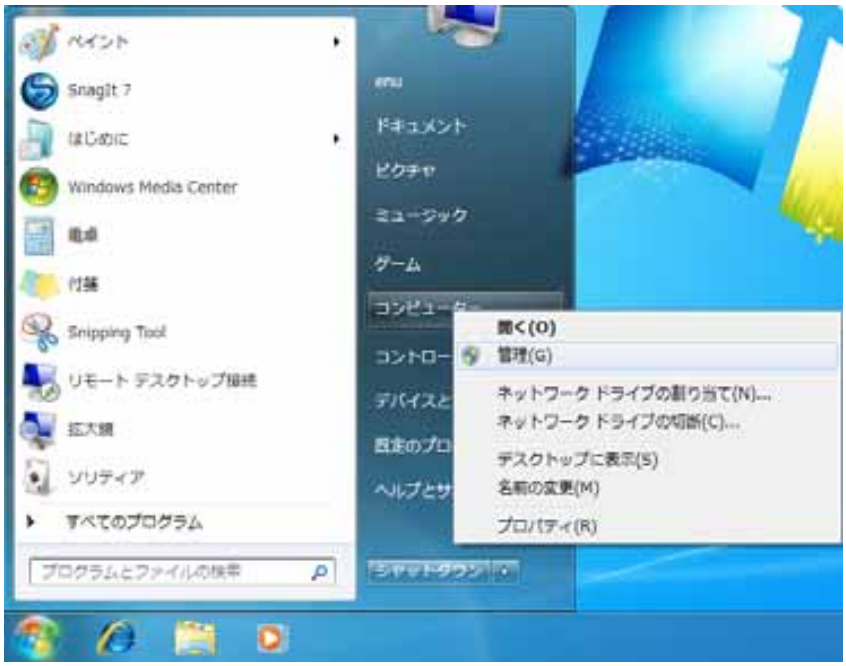
5. インストールが完了したら、**[閉じる]** をクリックします。



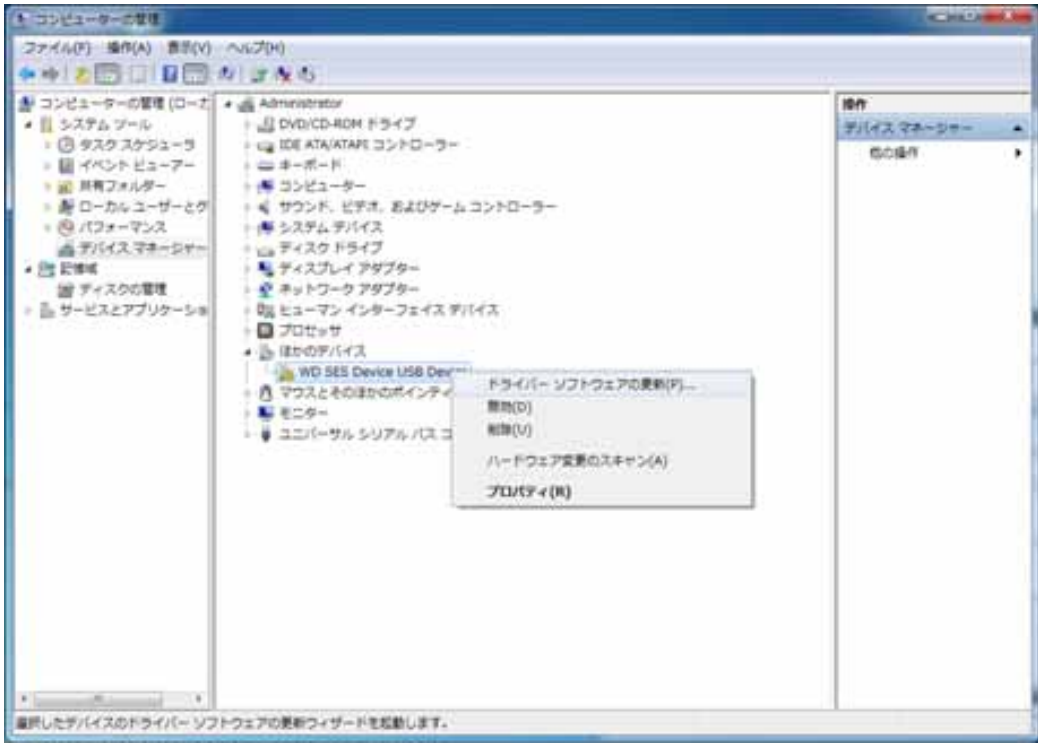
Windows 7 にインストールする

5 ページの図 3 に示すように物理的にドライブに接続した後、Windows 7 の［コンピュータ］の［管理ユーティリティ］を使用して SES ドライバをインストールします。:

1. **[すべてのプログラム]** を開いて、**[コンピューター]** > **[管理]** をクリックします。



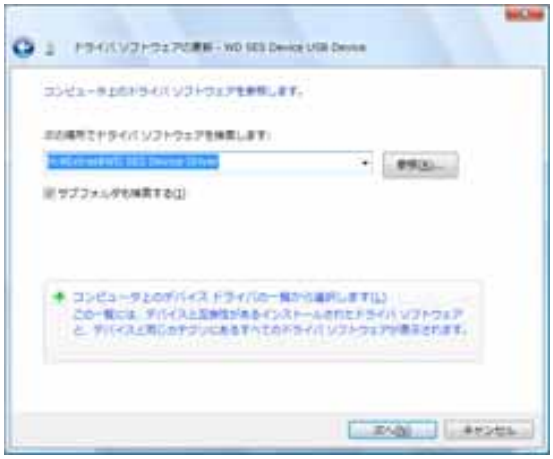
2. **[コンピューターの管理 (ローカル)]** で、**[デバイス マネージャ]** > **[他のデバイス]** をクリックし、**[ドライバ ソフトウェアの更新]** を右クリックします。



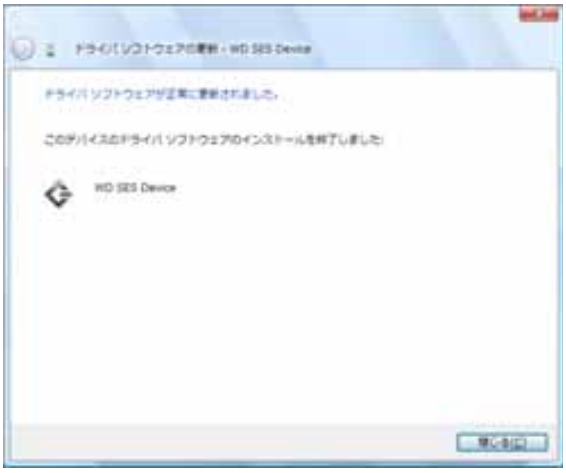
3. **[コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します]** をクリックします。



4. **コンピュータ** を参照し、My Passportドライブをダブルクリックし、[Extras] フォルダをダブルクリックし、そして **WD SES デバイスドライバ**を選択します。



5. **[次へ]** をクリックします。
6. インストールが完了したら、**[閉じる]** をクリックします。



B

遵守および保証情報

この付録では以下のトピックを取り上げます。

規制順守
環境基準の遵守（中国）
保証情報

規制順守

FCCクラスB情報

このデバイスは FCC 規定のパート15に従い、クラスB デジタルデバイスの制限に対してテストされ、それに適合していることが確認されています。これらの制限事項は、住宅地域での設置の場合に有害な電波障害に対し妥当な予防策を与えるよう設計されています。このユニットはラジオ周波数エネルギーを発生、使用し、それを放射する可能性があり、そして指示通りに取り付けられ、使われない場合、ラジオまたはテレビの受信に対して、有害な干渉の原因となることがあります。しかしながら、特定の設置条件でこれらの障害が発生しないという保証はありません。機器を断続的にオン / オフすることによって、ラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼした場合は、次の複数の手段によって干渉を修正することが推奨されます :

- 受信アンテナの方向を変えたり、配置を変える。
- 機器と受信機の距離を大きくします。
- 受信機が接続されているコンセントとは異なる回線のコンセントへ機器を接続する。
- ご質問がある場合は､販売店または熟練したラジオ/テレビ技術者にご相談ください。

WD が明示的に承認していない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

ICES-003/NMB-003 宣言

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme ICES-003 du Canada.

このデバイスは Canadian ICES-003クラスBに準拠しています。

安全準拠

アメリカおよびカナダで承認済み。CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1, UL 60950-1: 情報技術機器の安全性。

Approuvé pour les Etats-Unis et le Canada.CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1,
UL 60950-1 : Surete d'equipement de technologie de l'information.

ヨーロッパに於けるCEの遵守

CE マークが表示されている場合、このシステムが、EMC 指令 (2004/108/EC)、および低電圧指令 (2006/95/EC) など、適用 EU 理事会指令に準拠していることを示します。適用指令に基づく「準拠の EU 宣言」は、Western Digital Europe によって作成され、保管されています。

KCC告知（韓国のみ）

기종별	사용자 안내문
B 급기기 (가정용방송통신기자재)	이기기는가정용(B 급) 전자파적합기기로서주로가정에서사용하는것을목적으로하며, 모든지역에서사용할수있습니다

環境基準の遵守（中国）

有毒有害物质或元素

部件名称	产品中有毒有害物质或元素的名称及含量					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价 铬 (Cr (VI))	多溴化联 （二）苯 (PBB)	多溴化 二苯醚 (PBDE)
减震架(4)	○	○	○	○	○	○
减震器(4 pcs)	○	○	○	○	○	○
脚垫(4 pcs)	○	○	○	○	○	○
带镜头的上盖	○	○	○	○	○	○
底盖	○	○	○	○	○	○
PCBA	○	○	○	○	○	○
硬盘驱动器	X	○	○	○	○	○
微型 USB 电缆	○	○	○	○	○	○
EMI 底盖	○	○	○	○	○	○
聚酯薄膜	○	○	○	○	○	○

O: 表示有毒有害物质在该部件的所有均质材料中的含量均低于
SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。
X：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出
ST/T11363-2006 标准规定的限量要求。
（在此表中，企业可能需要根据实际情况对标记"X"的项目进行进一步的技术性解释。）

保証情報

サービスを受けるには

WDは、お客様のビジネスを大切にし、常に最高のサービスの提供に努めております。この製品に保守が必要な場合は、製品を最初に購入なさった代理店に連絡するか、または弊社のサポートWebサイトである *support.wdc.com* をご覧になり、サービスを受ける方法または返品許可（RMA）について詳細をお調べください。製品に欠陥があると確認された場合、RMA番号が出され、製品を返品する手順が通知されます。許可されていない返却（つまり RMA 番号が発行されていないもの）は、お客様負担でそちらに返送されます。許可された返却は、承認された発送用コンテナに入れられ、前払いで保険を掛け、返却書類に示されている住所に宛ててください。元の箱および梱包素材は WD 製品を保存あるいは発送するために保管しておいてください。保証期間を確定するために、*support.wdc.com* で保証の有効期限を調べてください（シリアル番号が必要です）。WDは、いかなる理由においても、損失したデータ、損失したデータの回復、あるいは製品に含まれていたデータについて責任を負いません。

限定保証

WDは、この製品が通常の使用において、下記の条項で規定されている条件下で素材および出来上がりに欠陥がなく、WDの仕様を満たしていることを保証します。限定保証期間は、その製品を購入された国によって異なります。限定保証の期間は、法律で義務付けられている場合を除き、北米と中南米では 2 年間、ヨーロッパ、中東、アフリカでは2年間、アジア太平洋地域では 3 年間となっています。限定保証期間は、購入時の領収書に記されている購入日から始まります。製品が WD から盗取されたものであると断定された場合、または次の場合、WDは責任を負いません。当該故障が a) 存在しない場合、b) WDが製品を受け取る前に生じた損傷のために適切に修正できない場合、または c) 不正な使用、不適切な設置、改変（ラベルの取り外しまたは消去および外部エンクロージャの開封または取り外しを含む。ただし、制限されたユーザー サービス可能製品リストに製品がある場合、および特定の改変が *support.wdc.com* にある該当手順の範囲内にある場合は除く）が行われたか、または WD 以外の者による事故または不注意な取り扱いの場合。上記の制限に従って、お客様が受ける排他的な唯一の保証は、上記指定保証期間における、WDの意志による製品の修理または交換になります。

前記の限定保証がWDの唯一の保証であり、新品として販売された製品のみに適用されます。ここで提供される救済は、明示、黙示または法定かを問わず、a) 市販性、特定の目的との適合性に関する黙示の保証を含む (ただし必ずしもこれらに限らない) 他のすべての救済と保証に取って代わるものであり、b) この製品の購入、使用、性能との関連から生じた、偶発的、派生的、または特別な損害、財務的な損失、利益の喪失、データの喪失 (ただし必ずしもこれらに限らない) に対して一切責任を負いません。これは、WD が、あらかじめそのような損害が生じる可能性を知らされていた場合でも同 様です。アメリカのいくつかの州では付随的または結果として生じる損害の制限を許容せず、そのために上記の制限がお客様に適用されない場合があります。この保証はお客様に特定の法的権利を与えますが、お客様には州ごとに異なるその他の権利があるかもしれません。

GNU 一般公衆利用許諾契約書 (GPL)

本製品に組み込まれたファームウェアには、Western Digitalのエンドユーザー使用許諾契約ではなく、GPLまたは劣等一般公衆利用許諾契約書（「LGPL」）（総称して「GPL ソフトウェア」）で許諾されたサードパーティ著作権付きソフトウェアが含まれている場合があります。GPLに従い、該当する場合 :1) GPLソフトウェアの ソースコードは、*http://support.wdc.com/download/gpl* から無料でダウンロードできます。または、*http://support.wdc.com/download/gpl* から、あるいは購入された日から 3 年以内にカスタマーサポートに連絡することによって CDを通常価格で入手可能です。2) GPL ソフトウェアは再使用、再頒布 および、改変が可能です。3) GPLソフトウェアに関しては、適用される法律によって許容される範囲となり、保証はありません。また、4) GPLのコピーは、*http://www.gnu.org*、および *http://support.wdc.com/download/gpl* から入手できる場合もあります。

オープンソースソフトウェアを含むがこれに限定されないソフトウェアの変更または改ざんは、もっぱらお客様ご自身のリスクで実行されるものとします。Western Digital は、そのようないかなる変更あるいは改ざんにも責任を負いません。Western Digital は、Western Digital によって提供されたソフトウェアを変更したりあるいは変更を試みたりした製品のサポートは行いません。

索引

F
FCC クラス B 情報 67

G
GNU 一般公衆利用許諾契約書 69
GPL ソフトウェア 69

I
ICES-003/NMB-003 の遵守 67

L
LED インジケータ 4

R
RoHS 68

S
SMART ステータスチェック 45

U
USB
　ケーブル 2
　ドライブインターフェース 4

W
WD 73
　SmartWare アイコン 42
　サービス 68
　ストアリンク 25
WD SmartWare ソフトウェアの起動 42
WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元 50

あ
アイコンの点滅アラート 43
空き領域 43
アクセサリ、オプション 2
アラート、アイコンの点滅 43
安全準拠 67

い
[一部のファイルを復元]
選択ボックス 22
インジケータライト 4

お
オペレーティングシステム 3
オペレーティングシステムとの互換性 3
温度のチェック 43
オンラインユーザーマニュアルリンク 24

か
各部の名称と説明 3
環境基準の遵守、中国 68
環境設定
　オプション、設定 53
　ボタン 23

き
規制遵守 67
キットの内容 2

く
クイックドライブテスト 46

け
ケーブル 2
検索ボタン、[復元] タブ表示 21
限定保証 69

こ
コンテンツゲージ
　ご使用のコンピュータ 16
　ご使用のコンピュータ、[バックアップ] タブ表示 18
　ドライブ 17
　[バックアップ] タブ表示 18
コンピュータ
　アイコン、[ホーム] タブ表示 15
　コンテンツゲージ、[バックアップ] タブ表示 18
　コンテンツゲージ、[ホーム] タブ表示 16

さ
サービス 68
サポートリンク 25

し
システム
　互換性 3
　ファイルのカテゴリ、定義済み 17
順守 67
[診断を実行] ダイアログ 46

す
ステータスチェック 43

せ
製品の特長 1
設定
　[環境設定] ダイアログ 53
　スリープタイマー 44
　ファイルの履歴の設定 51
　[復元フォルダ] ダイアログ 52
[設定] タブ表示
　環境設定ボタン 23
　機能概要 13
　説明 23
　バックアップ速度ボタン 23
　ファイルの履歴ボタン 23
　復元フォルダボタン 23

そ
ソフトウェアアップデートボタン 25
ソフトウェアおよびディスクイメージの復元 55
ソフトウェア設定
　基本設定 53
　復元フォルダ 52

ち
注意
　接続の切断時のデータ損失防止について 43
　ドライブの消去について 47
　パスワードの紛失について 35
　ロックが解除されたドライブについて 36, 40
中国 RoHS 68

て
ディスクイメージ、ダウンロードする、復元する 50, 55

と
ドライブ
　PC から取り外す 43
　アイコン、[ホーム] タブ表示 15
　コンテンツゲージ、[バックアップ] タブ表示 18
　コンテンツゲージ、[ホーム] タブ表示 17
　診断とステータスチェック 45, 46
　ステータスチェック 43
　スリープタイマー 44
　取り扱い上の注意 4
　表示スクロールポインタ、[ホーム] タブ表示 16
ドライブ消去 47
[ドライブ消去] ダイアログ 47
ドライブの再フォーマット 55, 56
ドライブの設定
　スリープタイマー 44
　セキュリティ 35
　登録 44
　ドライブ消去 47
ドライブの登録 44
[ドライブの登録] ダイアログ 45
ドライブの取り外し 43
ドライブのパスワード保護 35
　パスワードの紛失についての注意 35
ドライブのロック解除 36
　WD セキュリティソフトウェア 37, 39
　バーチャル CD から 38, 43
ドライブフォーマット、変換する 3
ドライブフォーマットの変換 56
取り扱い上の注意 4

な
内蔵ドライブ選択ボックス、[ホーム] タブ表示 15

は
ハードウェア 2
箱の内容 2
パスワードの作成 35
バックアップ
　手順 26
　ファイルコンテンツボックス 27, 28, 29
　ファイルのバックアップについて 26
バックアップ詳細表示領域、[バックアップ] タブ表示 19
バックアップ速度ボタン 23
[バックアップ] タブ表示
　機能概要 12
　ご使用のコンピュータのコンテンツゲージ 18
　説明 17
　ドライブのコンテンツゲージ 18
　バックアップ詳細表示領域 19

[ファイルバックアップに切り替える / カテゴリバックアップに切り替える] トグルボタン 20
バックアップボリューム選択ボックス 21

ふ
ファイルの履歴の設定 51
ファイルの履歴ボタン 23
[ファイルバックアップに切り替える / カテゴリバックアップに切り替える] トグルボタン 20
復元
手順 31
ファイルオプションボタン 22
ファイルの復元について 31
[復元] タブ表示
[一部のファイルを復元] 選択ボックス 22
機能概要 12
検索ボタン 21
説明 20
バックアップボリューム選択ボックス 21
復元フォルダボックスの変更 21
復元先オプションボタン 22
[復元の開始 / キャンセル] トグルボタン 22
[復元の開始 / キャンセル] トグルボタン 22
復元
フォルダ、指定 52
復元フォルダボタン 23
復元フォルダボックスの変更、[復元] タブ表示 21
フルメディアスキャン 46

へ
[ヘルプ] タブ表示
WD ストアリンク 25
オンラインユーザーマニュアルリンク 24
機能概要 13
サポートリンク 25
説明 24
ソフトウェアアップデートボタン 25
ラーニングセンタートピックボタン 24

ほ
[ホーム] タブ表示
機能概要 12
ご使用のコンピュータのコンテンツゲージ 16
コンピュータアイコン 15
説明 13
ドライブアイコン 15
ドライブのコンテンツゲージ 17
ドライブ表示スクロールポインタ 16
内蔵ドライブ選択ボックス 15
保証 68

ら
ラーニングセンタートピックボタン 24

WDによって提供された情報は正確で信頼できるものと考えられますが、その使用、あるいはその使用に起因した特許または第三者のその他の権利の侵害に関して WDは一切責任を負いません。WDの特許または特許権のもとで、黙示的またはその他の方法でライセンスが許可されることはありません。WDは通知することなく仕様をいつでも変更する権利を保持します。

Western Digital 、WD 、WDのロゴ、My Book、および My Passport は Western Digital Technologies, Inc. の登録商標であり、My Passport Essential、WD SmartWare、および Data Lifeguard は Western Digital Technologies, Inc. の商標です。本書で言及した他のマークはその他の会社に属します。

© 2011 Western Digital Technologies, Inc. All rights reserved.

Western Digital
3355 Michelson Drive, Suite 100
Irvine, California 92612 U.S.A.

4779-705063-R01 2011 年 11 月